
ASUKA COMICS
八つ墓村
やつはかむら
原作／横溝正史
JET



ASUKA COMICS

八つ墓村

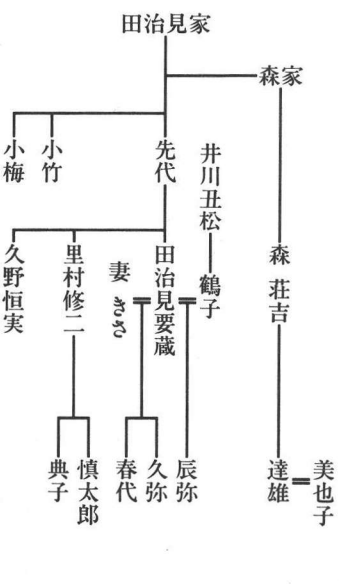
JET

原作/横溝正史

角川書店


八つ墓村
やつはかむら
JET
ジェット
原作／横溝正史
よこみぞせいし







金田一耕助（きんだいちこうすけ）

ご存じ・名探偵。八つ墓村に関る別の事件を捜査中、丑松殺しに遭遇。



寺田(田治見)辰弥（てらだ たじみ たつや）

天涯孤独の身のはずだが、八つ墓村の有力者・田治見家の跡取りだと知らされ村へ戻る。



森美也子（もりみやこ）

田治見家の分家にあたる森家の末亡人。



田治見春代（たじみはるよ）

辰弥の異母姉。



田治見小竹・小梅（たじみこたけ・こうめ）

辰弥の大伯母であり現・田治見家の当主。双子。


ズキン
——ああ
まただ
目を開けちゃいけない
目を開けちゃいけない
目を開けたら——


——鬼が来る——


……あ？
ズキ
またか…
ズキ


昭和28年——東京——
この年
長かった梅雨が
ようやく明けたと
思ったら
すさまじい暑さが
おそってきた



この頃の俺は
定職にもつけず
友人宅の三畳間に
居候しているような
有様だったので

辰弥さ――ん

はい？

ねえ
あなたのお父さん
虎造って名前じゃ
なかったかしら

もしそうなら
ラジオであなたを
探してる人が
いるわよ？

諏訪法律事務所

この奇妙な
尋ね人広告に
応じる気になつた


諏方法律事務所
へぇぇ
ラジオっちゅうもんは
効果のあるもん
ですなあ
こげえに早う
反響があろうとは
寺田辰弥さん？
…はい


お父さんの寺田虎造さんというのは？
義父です 空襲で亡くなりました
お母さんの名は？
鶴子といいます
なるほど…
そうは言っても
僕が2歳の時に亡くなりましたから母のことはあまり…

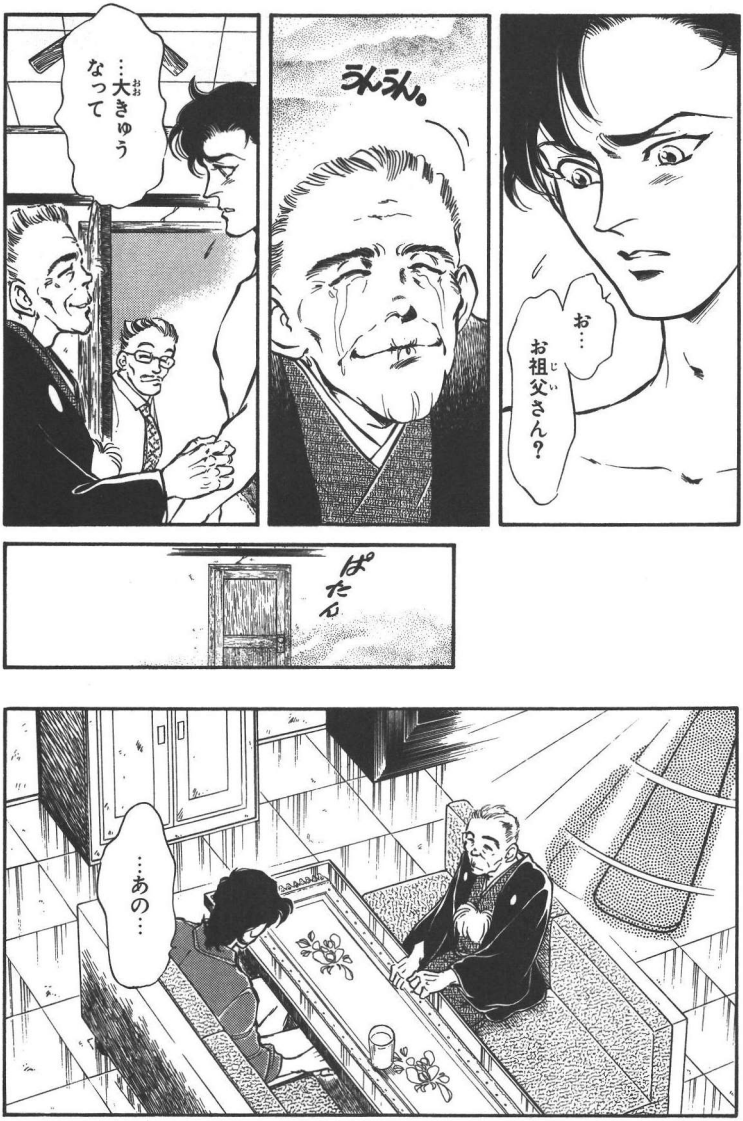

…失礼じゃが
服を脱いで裸になってくださらんかの？
？
！
ズザッ
そんな…
一方的に呼びつけておいて理由も話さず
いきなり〝服を脱げ〟とはどういう事ですか!?


いやいや
気分を害されたら許してくだせ
……
あんたさんを探しておるんはさる地方の御大家でのォ


本当の父上の御実家ということになるが
もし本当にあんたさんが探しておるおひとなら
その身体にはまちがえようのない目印があるはずじゃあてな
…本当の
――父――


……
その目印とは
これのことですか
……お……


おお…お…
辰弥じゃ
まちがいない……
あの頃の鶴子にそっくりじゃあ…
井川丑松さんとゆうてな
あんたさんの母上のお父上――
お祖父さんじゃな


お…
お祖父さん？
うんうん。
…大きゅう
なって
ぱたん
…あの…


いや
すいません
自分に血縁がいることなんて考えたこともなくて……
ニニ
何を言ったらいいのか…
コンッ
コツッ
あの…
だいじょ…
いつも…のぜんそく…
ゴホッ
じゃ
くす…り…




なっ…
なに!?
…た…
ビク
ビク
たっ…
おじいさんっ!?


じいちゃーんっっ
――わけが
わからなかった

はじめて会った祖父

はじめてめぐり会えた肉親だった



どんなにうれしかったことか

祖父もそうだったと思う





冗談じゃない!!


なんで僕が祖父を殺すんですか!?
あそこで初めて会ったんですよ?


…はじめて…
——なのにあんなにあんなにうれしそうに
僕の手を握ってくれたのに
誰が祖父さんを殺したんだ……
ギィ…
村井刑事ちょっと


……え？
金田一先生が…
辰弥くん!!


金田一さん
あ
すすいません
等々力警部
なんの
ふっふ——
私も
あの青年が
犯人だなんて
思っとりませんよ
そんな
単純な事件に
名探偵金田一耕助が
乗りだしてくるとは
思えない
そんな


――金田一さん


今回の事件と
その――
貴方が
依頼されたという
事件と
何か
関りがあると
お考えですか？


……
わかりません


何せ
5年も前の
事件ですし
証拠も何も
残ってない

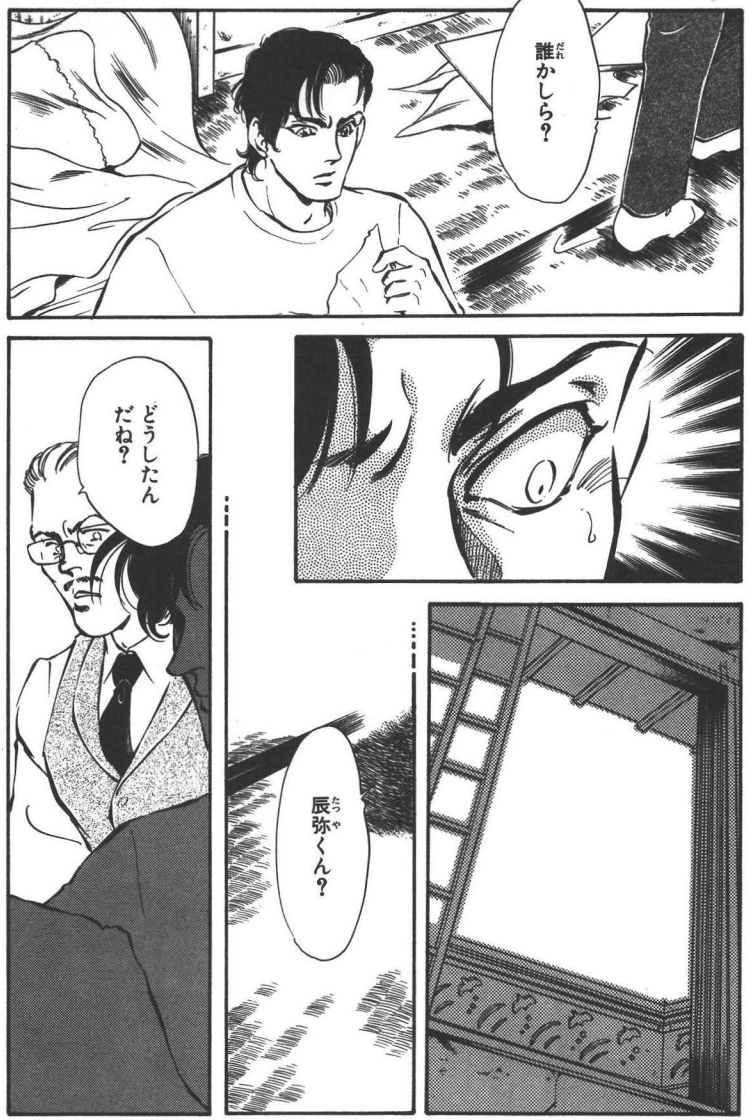

〝同じ村の老人が
理由も解らず
毒殺された〟
――それだけの
ことかもしれない


――で？
はは


……
僕 ちょっと
岡山へ行きます
！


ふたつの事件を
繋ぐ鍵――
〝八つ墓村〟へ――


辰弥さん？
あなたに変な手紙が来てるのよ
寺田辰弥様
変な手紙？
あら


誰かしら？
どうしたんだね？
辰弥くん？


…諏訪弁護士


僕の生まれた村は八つ墓村というのですか？
ええ そうですわ
八つ墓村の田治見家
田治見辰弥というのがあなたの本当の御名前ですわ


遠縁にあたる
森美也子と
申します
井川丑松さんの
代りに
お迎えに
参りました


是非とも
辰弥さんに
戻って頂きたいと…
大伯母さまたちに
キツく
申しつけられて
参りましたのよ
…大伯母?
でも
辰弥さん
大丈夫なの?
こんな…
…行きます
八つ墓村へ


血縁の人が
他にもいるなら
会ってみたいし
それに
祖父ちゃんの
お葬式には
出たいから——
8100
ガタン
岡山で
山陽線から伯備線へ
乗りかえて数時間
ガタン
そこから
バスで1時間
あまり——
ガタン


さらに徒歩で30分
急な峠を越えたところにその村はあった
右手に見える大きなお屋敷が田治見家よ
村の東にあるから東屋とも呼ばれてるわ


左側の
ちょっと大きな
建物が
分家の森家
西屋とも
言って——


私の婚家よ


……
結婚してらっしゃったんですか…




もっとも
夫はずい分前に死んじゃったわ

だから陽気な未亡人ってワケ!


ピカ
…あ
ツ


こっちゃ来ぉ！
田治見の息子だとよォ
あの・要蔵の息子が
よくもおめおめと——
美也子さん——


帰れ!!
来るなっ
来るなっ
八つ墓明神は
お怒りじゃ

お前が来ると
村はまた
血で汚れるぞオッ






…でも…
帰れっ
帰れっ
帰れっ！

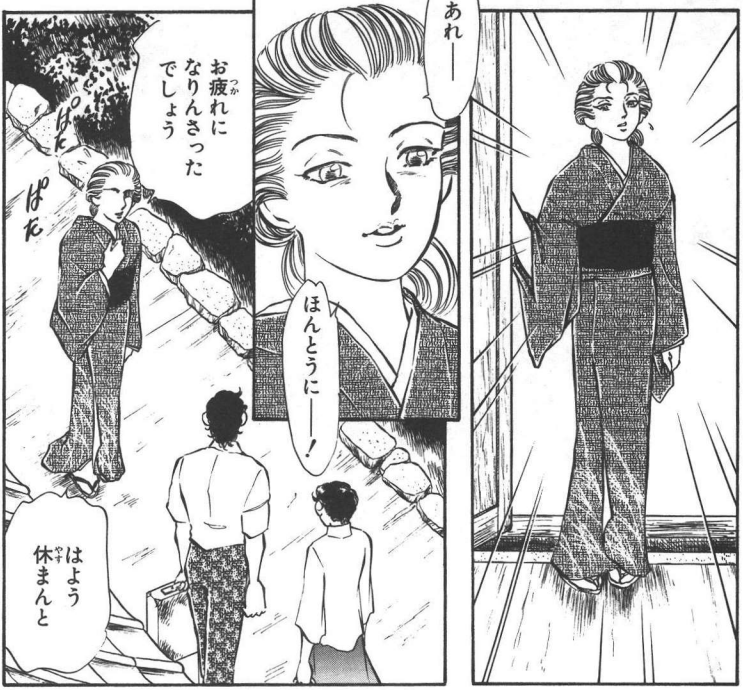


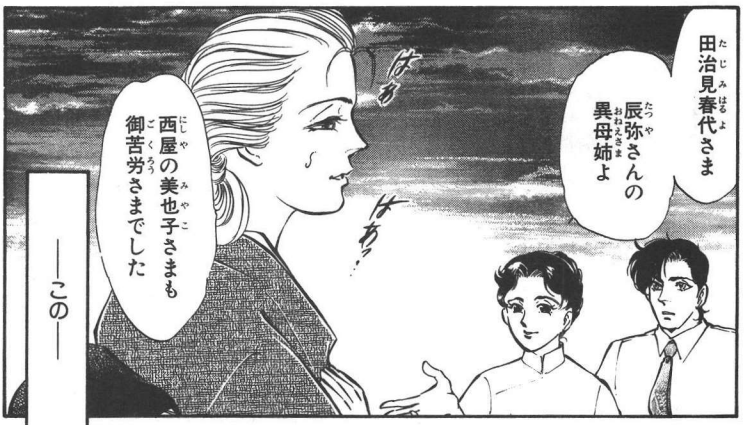




どうなさったの？


……
どうしてなんです
…僕は
故郷へ還るんだと思ってやって来たんだ
なのに
どうしてこんな――
そのうちお話しますわ
今話してください!!
なんで――
辰弥さん?


あれ――
お疲れになりんさったでしょう
ぱた
ぱた
ほんとうに――！
はよう休まんと


田治見春代さま
辰弥さんの異母姉よ
はあ
はあ…
西屋の美也子さまも御苦労さまでした
――この――

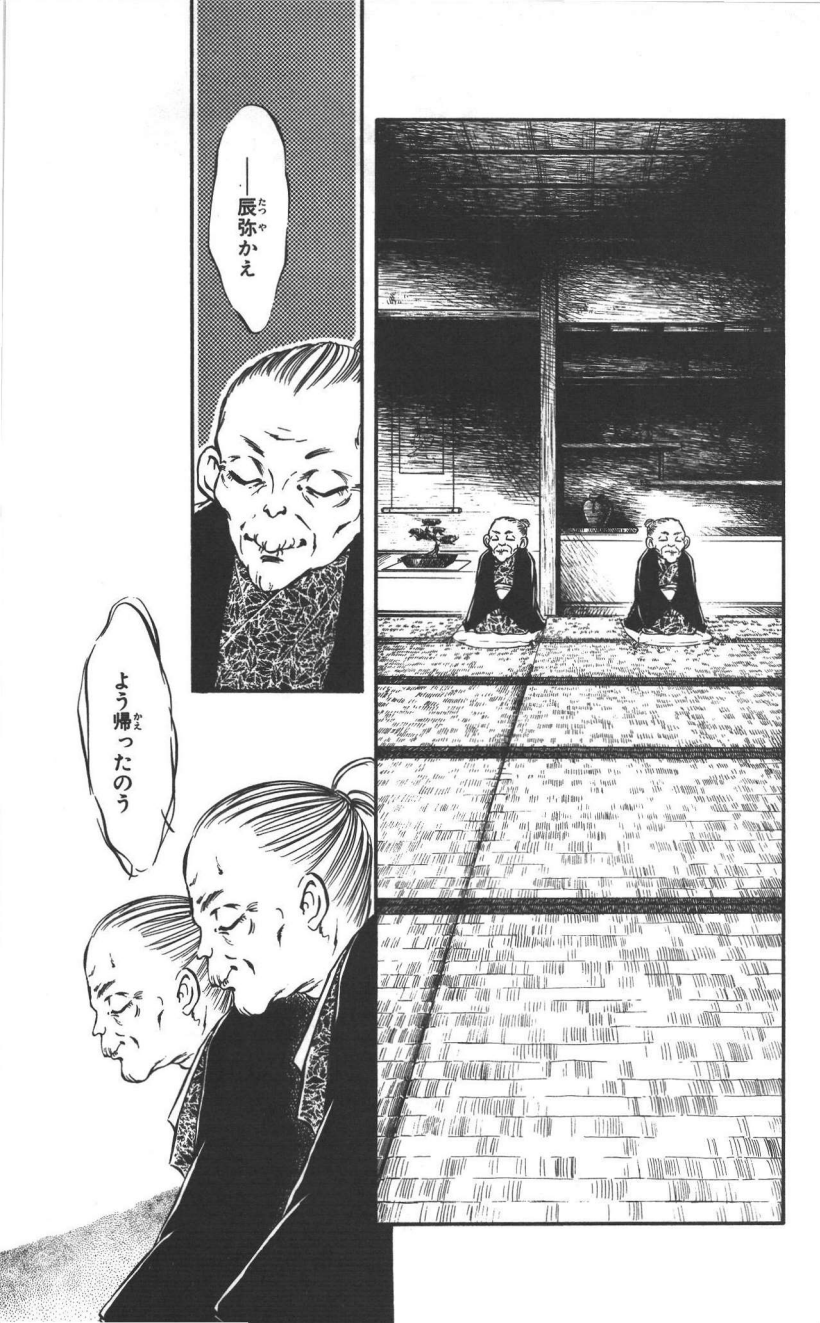

人の良さそうな
姉に
つられるように
僕はこの門を
くぐってしまった
ギョッ
万作
早う
お荷物を——


その後
どんな運命が
待ちうけているかも
知らず――
また
恐ろしいことが
起きにゃあ
ええが…
――また――
…村に
血の雨が
降るぞえ…


春代さん
大伯母さまがたは？
離れのほうでお待ちんさっております
辰弥さんが帰られるなら離れがよかろうと――
辰弥さん？
…いや迷子になりそうで
ホホ…
これぐらいで驚いていてはダメよ
このあたりの山やら土地やら…
ここら十か村のほとんどが田治見家の所有物なんですからね
…はあ




小竹さま
小梅さま
辰弥さんがお帰りんさりました
あ
はじめまして……！


――辰弥かえ
よう帰ったのう


ポカ
まあまあ
大伯母さまがた
御機嫌いかが


辰弥さん
こちらが
あなたの大伯母さま
にあたる
かたがたよ
こちら
小梅さまと
――

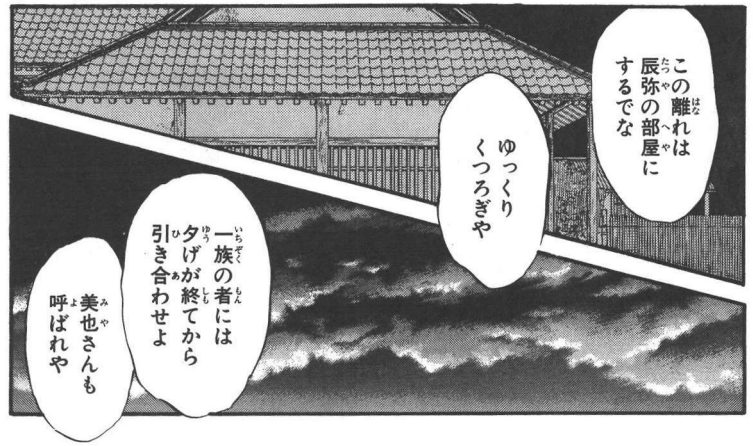

ほっほっ
ちがうぞな
美也さん


わてが小竹で
小梅は
わてだわな


あら
ごめんなさい
いつも
まちがえて
しまいますのよ
こんなに
そっくり
なんですもの
ほっほっほっ…
これが
辰弥かいのう
小竹さんや
はいよ
小梅さん
血は争われん
もんじゃなあ
鶴子に
生き写しじゃ
ないかえ…
!

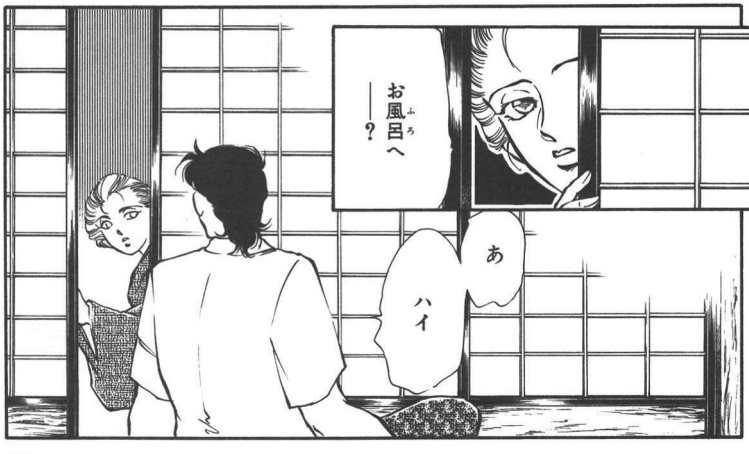

こ…れっ
ん？
鶴子が大事に
拝んでおった
観音さまの
掛軸じゃが…


辰弥さんは
この部屋で
お生れんさったんよ
ほっほっ…
なつかしかろ
ほんの赤ン坊の
頃のこと
じゃがね
覚えとるもんかね
――覚えてる――


この離れは
辰弥の部屋に
するでな
ゆっくり
くつろぎや
一族の者には
夕げが終てから
引き合わせよ
美也さんも
呼ばれや


春代
万作に言うて
久野先生を
呼んでこ
あの…
慎太郎さんと
典子さんは…？
そんなも
おったかいの
ほっほ…
会いとう
ないんじゃ
ないかのォ
ほっほ…


辰弥さん？


お風呂へ——？
あ
ハイ


この観音さまが何か？
いえ…
その
優しい顔をしておりんさるねえ…


…僕…
母の——
鶴子という女性の顔をよう覚えとらんのです
ただ——
何故かこの絵のことはハッキリ覚えてて——


……
鶴子さんも
優しいお顔を
しておりんさった
から——
うちも
小さかった
けんど
はっきり
覚えとりますよ
優しそうで
ちょっと
寂しそうな——
辰弥さんに
よう似た方
でしたけん
ブチッ
！


ど
どうさりん
さった?
だいじょうぶ…
なんでも
ないんです
まだだ——
母のことを
思い出そうと
する毎に
この傷が疼く
!
まるで
思い出すのを
止めるように
——
ナニ
アア

何故 母はこの家を出た?

何故
義父にも僕にも
何も
語らなかったのか

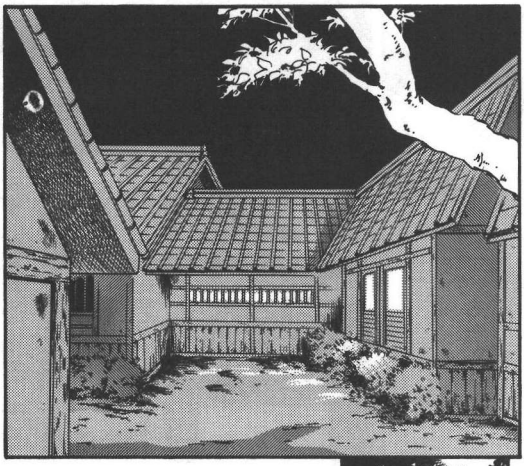
僕の

本当の父という人は
いったい——

本当に
うれしいわ

辰弥さんが
帰ってくれはって

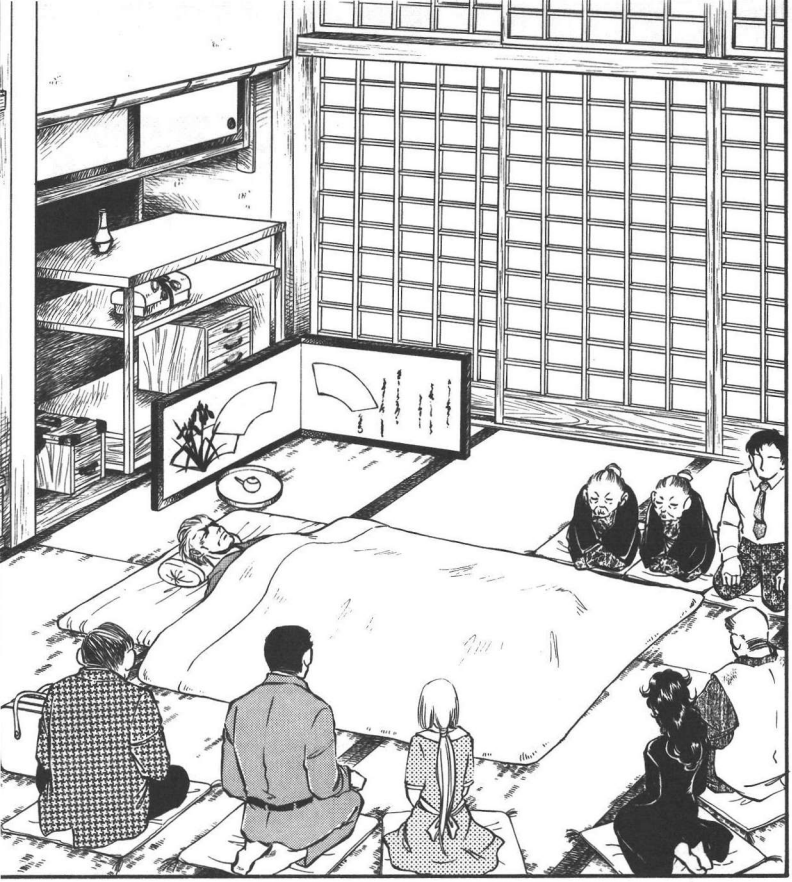

あなたは
ちゃんとした人間
みたいだから——

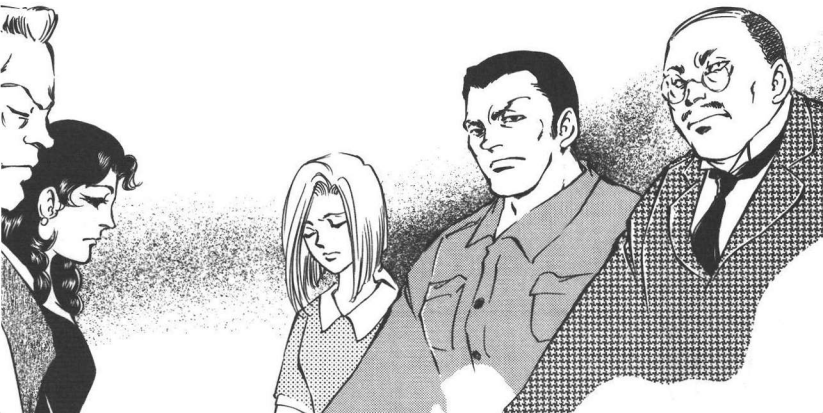





…このたびは
当家の次男
辰弥が
東京より
戻ってきた
よってに


みなに
引き合わせておく





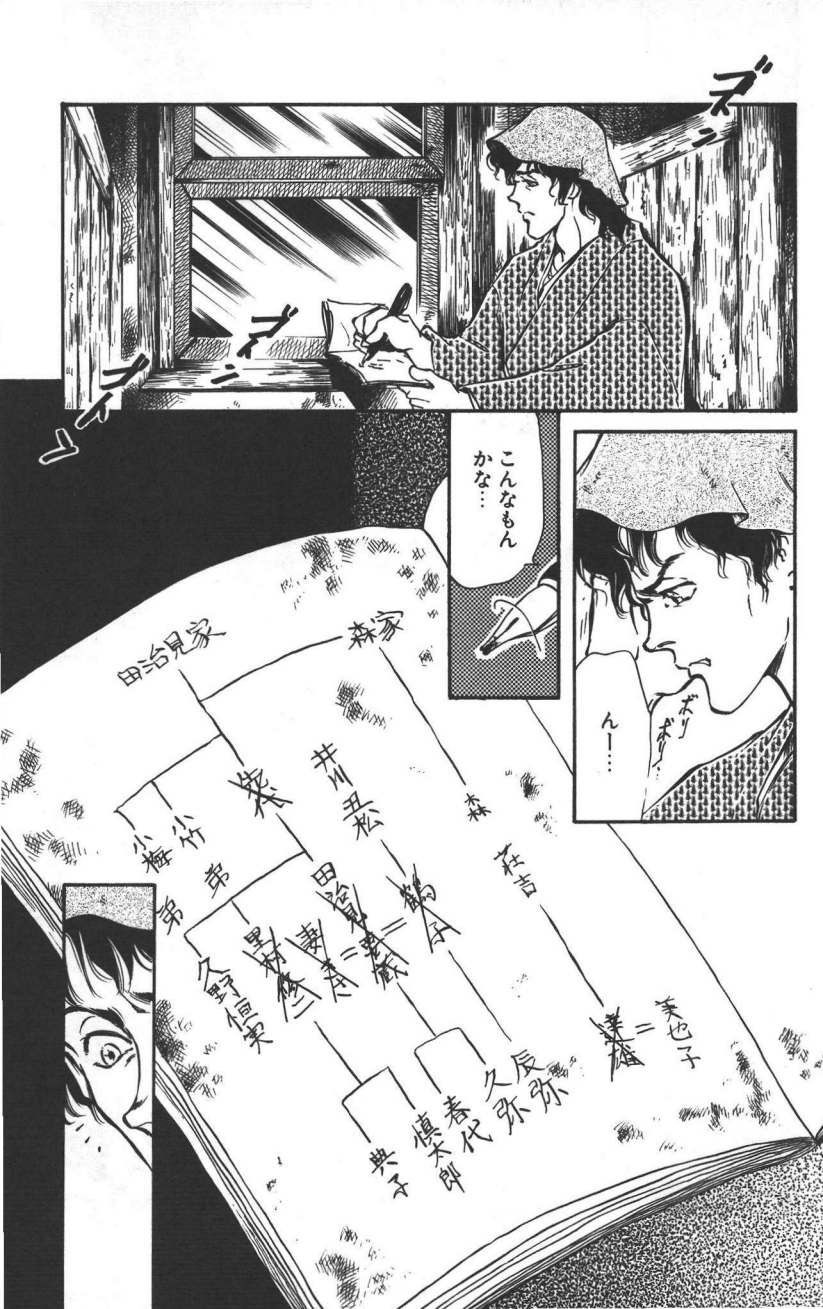

久弥や
これが
お前の弟の
辰弥じゃえ
りっぱになった
もんじゃろ
がな
辰弥
久弥兄さん
じゃ
…あ…


ほんまに
ええ男じゃ
田治見の家に
こんなええ男が
生まれるとは
のォ
これで
ひと安心じゃ
こんな立派な
跡継ぎが
できたでな
ゴッ
ナホッ
みんな
喜んでくれ
どこぞで
大あて違いを
しとる奴も
おるやろうけど
な


辰弥
ゴホッ
引き合わせ
とこ
むこうの端に
座ってござるのが
叔父の
久野のおっさんや
あっ
どっこ
どっこ
村には近頃
もっと良え
お医者が
できたそうやが
そこはそれ
親類や
なんぞあったら
おっさんに
診てもらえ
それから
その隣が
おまえの従兄弟の
慎太郎さんと
妹の典子じゃ
戦争で
無一文にならはって
田治見家の下長屋に
住んではる
せいぜい昵懇に
してもらいや


そちらは分家の森壮吉さん
嫁の美也子はもう会うたな
田治見の財産しっかり守らにゃいかんぜ！
ええか辰弥
郷に入っては郷にしたがえや
みんなにかわいがってもらわないかん
そんで




ブーン
ブーン
ブーン
こんなもんかな…
んー…
田治見家
森家
井川丑松
森 荘吉
小梅
小竹
弟
弟
妻
妻
鶴子
芙也子
久弥
辰弥
春代
徳太郎
典子

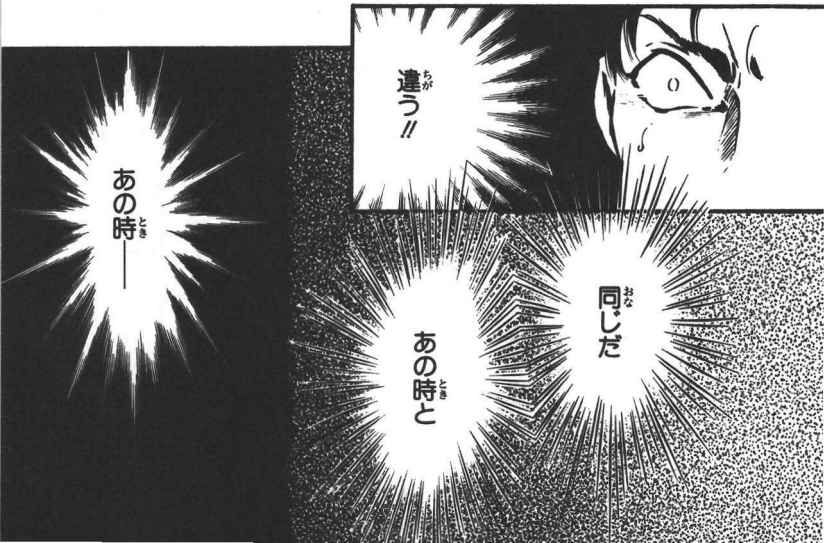

ズッ
ボッ
ボッ
ゲホッ
！
ボッ
ボッ
大丈夫…っ
ええ
ええ
久弥の世話は
ずっと
わしらが
してきたんや


ほれ
久弥(ひさや)
薬(くすり)じゃぞ
ふうぅ…


ギュッ


きゃあ
久弥!?
どうした
これ!?
ビッ
ビッ
ビッ
久弥さん
しっかり
せえ!


——御臨終です
興奮して
死期を早められた
のでしょう
肺壊疽も末期
でしたから——
——違う——
久弥も安心して
目をつぶれたやろ
どうせ この夏は
越せなんだろうし


違う!!
同じだ
あの時と
あの時——

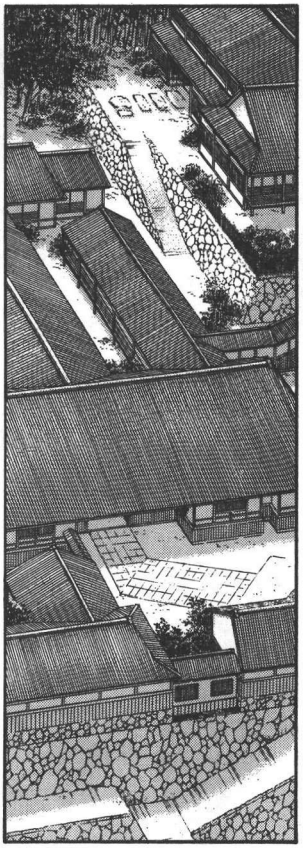

祖父が殺された時と!!



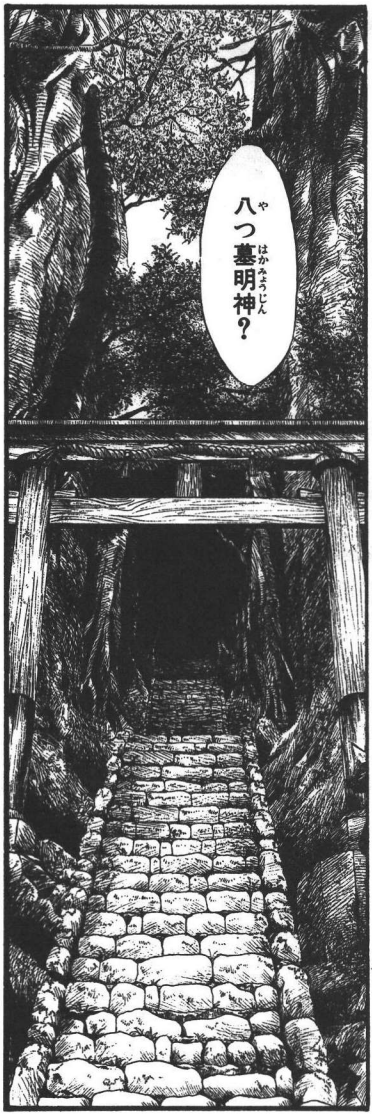

辰弥さん？




カチャ★




お疲れになったでしょう
いっぺんにふたつのお葬式なんて
お斎まで少し時間があるわ
いい風よ
散歩にでも行かない？


八つ墓明神？




これ以上
村の連中に
会いたくない


だったら
八つ墓明神へでも
すぐ裏の山だから
村の人と会うことは
まずないわ


村に伝わる
伝説によると――
永禄の年
――というから
今から380年くらい前
戦国時代のことね
雲州富田城主
尼子義久と
その近習7人が
毛利元就との
戦に敗れて
この山奥へ
落ちのびて
きだんですって


最初は
村の人たちも
彼らを快く
迎え入れたわ
だから
落武者たちも
安心して
荒れ地を耕したり
してたのだけれど
毛利方の詮議が
きびしくなって
村人たちは
不安になったのね
――それに
落武者たちは
再起のために
馬に黄金三千両を
積んで来たという
ウワサがあって


ある日突然


その無念の形相は
あまりにすさまじく
村人たちは
ふるえあがった
そうよ……
一度では
済まなかったの
〝村に血の雨が
ふる〟——
ってのは
そのことか…
ええ
その
8人の落武者の
墓というのが
八つ墓明神…


え？
着いたわ


ヘタに
押まないほうが
良いわ
特にあなたは
田治見家の
直系だから
…どうして
ですか？


…落人たちが殺されて数か月後――
村の長の息子が突然狂ったの
落武者襲撃の主謀者のひとりだったそうだけど
突然
〝許してくれ〟と叫びながら
自分の妻といわず幼い子供といわず
メッタ斬りにした場句――
自分で自分の首をはねて――

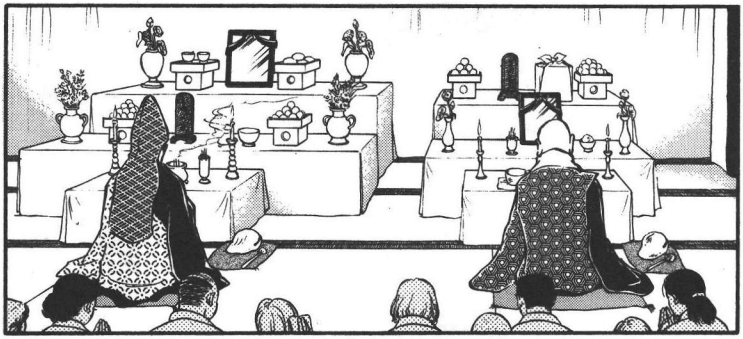

田治見家の先祖にあたる人よ…
その時に死んだ人数が本人を入れてちょうど8人
村人たちは落武者の祟りじゃといい恐れて
犬猫同然に埋めてあったその首を
きちんと供養しなおしてここに祭ったの
以来——
この村の名は〝八つ墓村〟——

妙なことがあったからなの
ほら
八つ墓明神の上のほうに大きな杉の木が見えるでしょ
村の人たちが神経質になってるのはあなたのせいだけでもないのよ


あれは
お梅さまの杉
といって
本当はもう一本
お竹さまの杉
というのと双子杉
だったの
樹齢千年以上と
言われてたの
ですけれど
この春 落雷で——
…それで
何か おそろしいことが
起きるんじゃ
ないかって
ウワサがたってたの


迷信なんかに負けちゃだめよ！
何があったって私だけはあなたの味方ですからね
辰弥さん！
何してなさるの？


八つ墓明神まで
ちょっと…
まあ！
忌中に
神参りなど
なさっては
いけんのよ
あ。
あら そうでしたっけ
ごめんなさいね
もうすぐ
双方のお寺さんも
来ますけん
母屋のほうへ
はよう
ハイハイ
田舎の人って
迷信深くて
たいへんね




あれ
お経が
終りんさった


辰弥さん


お膳を
運ぶのを
手伝うて
くださいな
はい
はい


その精進膳は
お寺さんの前へ


え…？
どちらへ？
どちらでも
ええんですよ
どっちも
同じもん
やから
井川家の菩提寺
麻呂尾寺の
長英さん
田治見家の菩提寺
蓮光寺の洪禅さん


寺…
田治見辰弥です
はじめまして
おう
これが…
跡継ぎ殿ですな
御立派になられて…
…まこと…


——まるで悪い夢だ——
八つ墓明神だの
落武者の祟りだの——
——来るべきではなかったかもしれない——
ガチャ!!


…あ…
洪禅さん!?
これ!
洪禅さん
どうなすった!
…が…

人殺しィィッ
ジリリリ…
——悪夢はまだ続く


はい？
磯川だが
なに!?
八つ墓村で
殺人事件!?
容疑者は
田治見辰弥？

八つ墓村
八つ墓明神
おそろしや
かえってきた
血！血！血だ！
血の海

おまえが村へ
かえってきたら

村は血の海と
化すであろう――



あいつが
毒を盛ったんじゃ

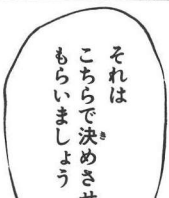


あいつが
自分のじじいを
殺し
兄まで殺したんじゃ

あの――


田治見要蔵の息子が――


何をおっしゃいますの!?
辰弥さんがなんで洪禅さんを殺さなあきまへんの!?
丑松さんやて――
久弥兄さんは病気で亡うなったんですよ!?


それはこちらで決めさせてもらいましょう


岡山県警の
磯川と申します
どうやら
毒は
この酢のものに
入ってたようだな
それで
お膳を運んだのは
――

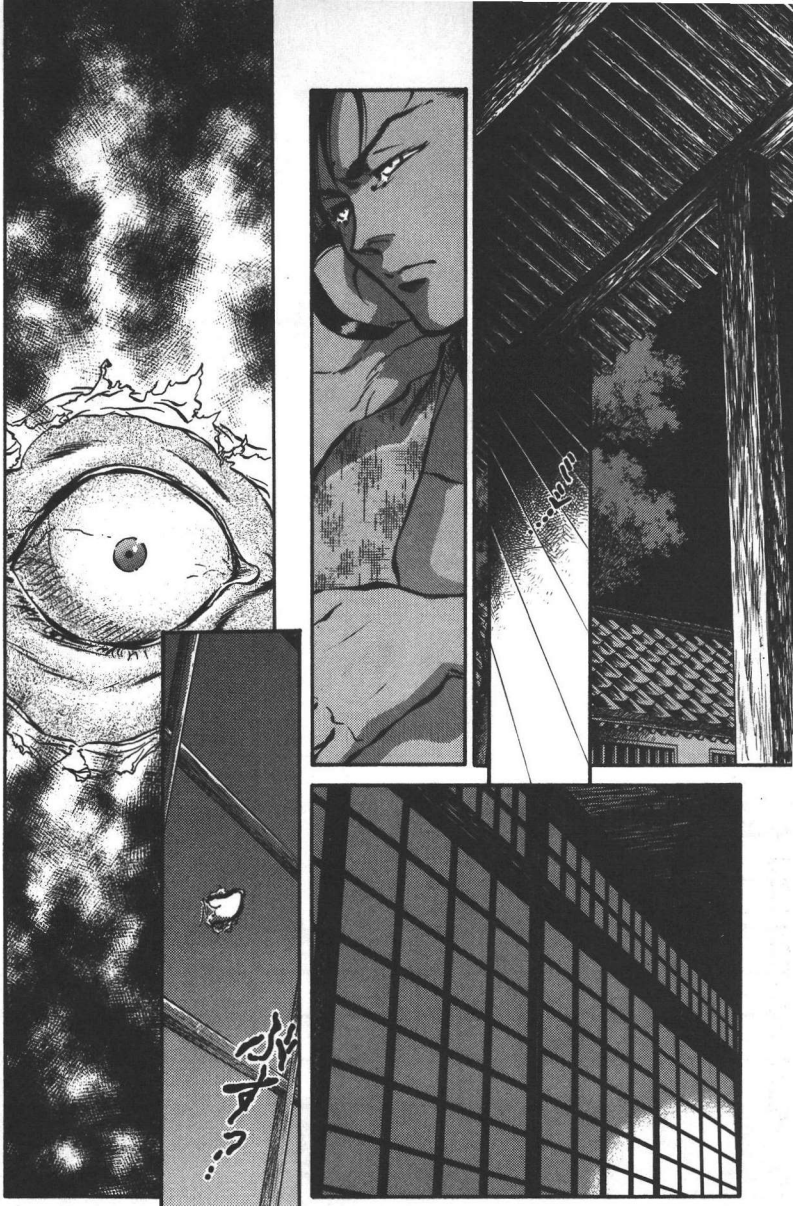

そんなっ
僕はただ言われたから——
洪禅さんの前にお膳を運ぶようにですか？
いえ…
特には——？
お寺さん用の精進膳は全部で——？
3つです
洪禅さんと長英さんの分
それに——


姥ケ市の梅幸尼さまには先にお帰りになりんさったんで
若い者に届けさせました
人目につかんように
台所には入れ替り立ち替り村の人がおいでんさったけん…
料理に細工するのはカンタンだったろうなこりゃ

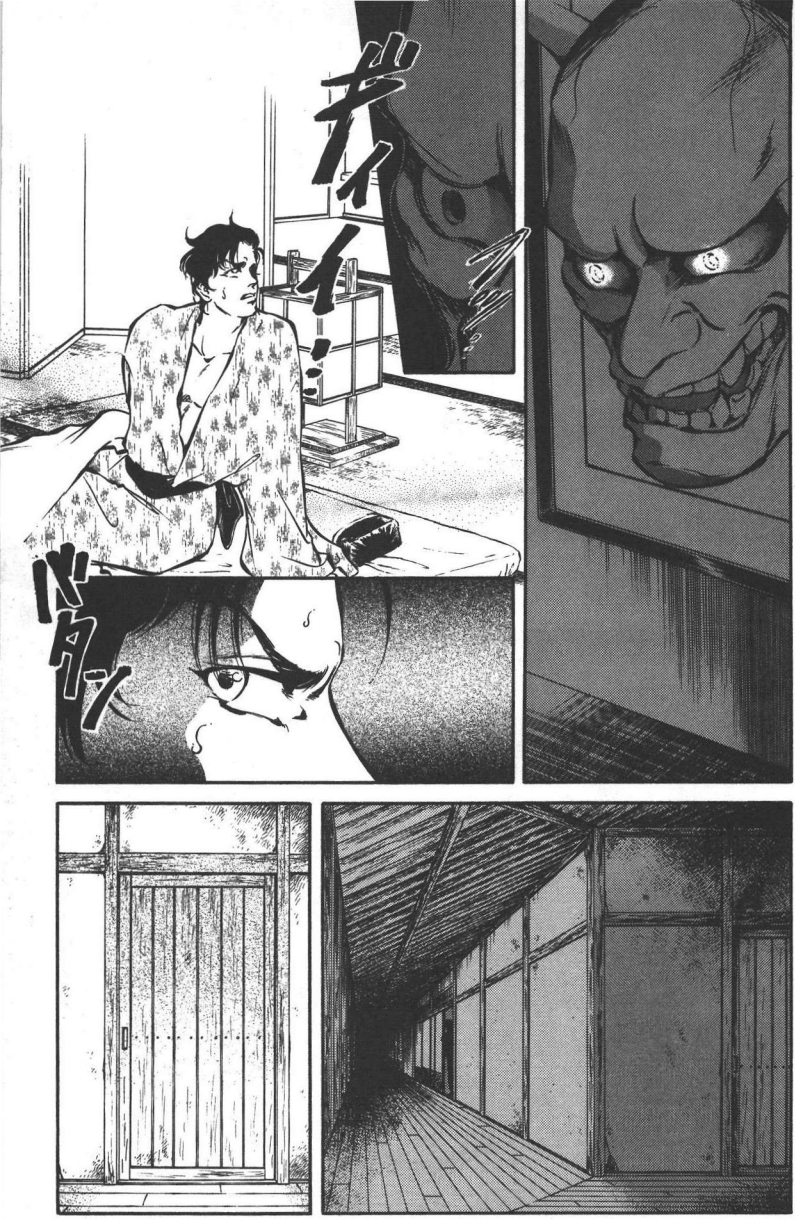

…洪禅さんにこのお膳が当ったのは偶然だったワケですか…
そんな馬鹿な
それじゃ無差別殺人じゃないですか


……わかりません……
この犯人がいったい何を狙っているのか…

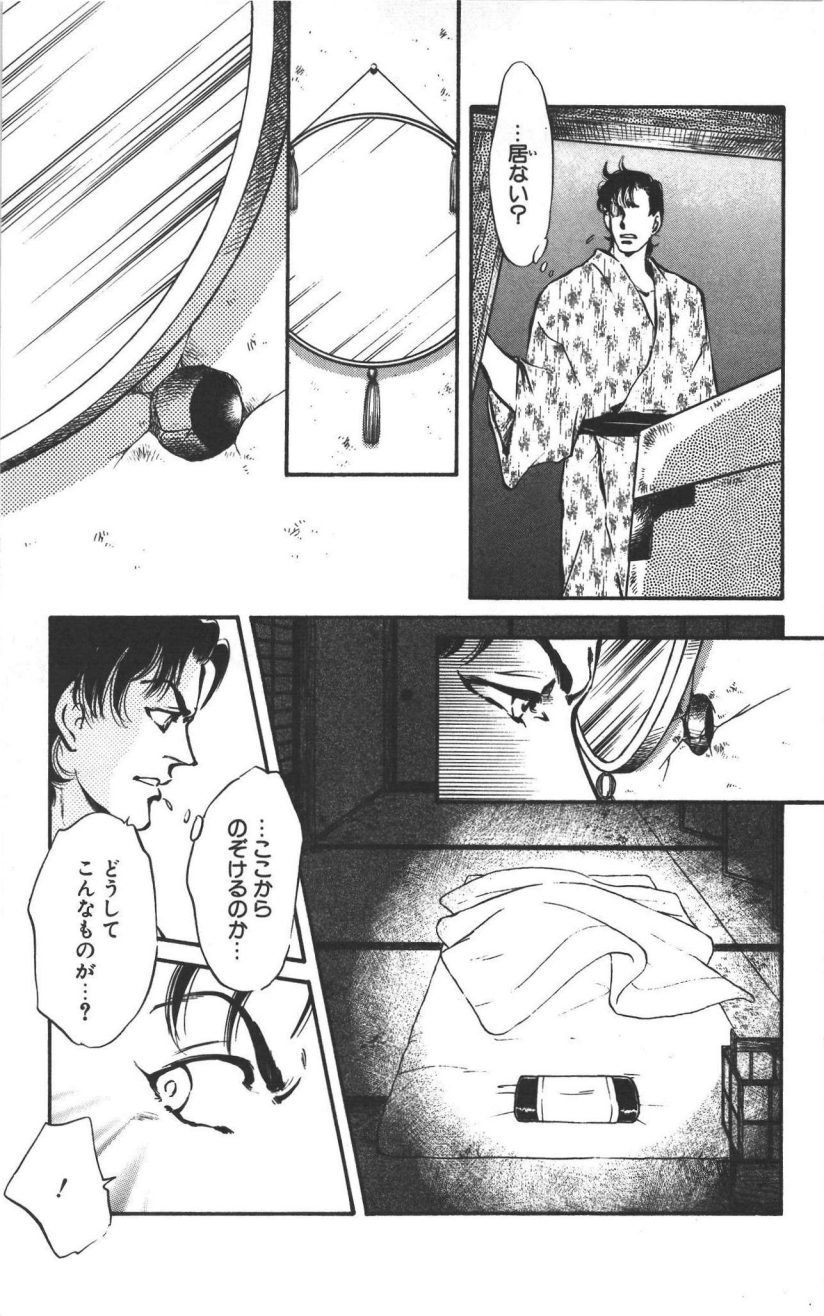

——ふうっ…
いいですか
貴方の容疑が
晴れた訳じゃ
ないんです
この村から
出ないように——
…ちくしょう…


ふっ
女…？


カヒ
ぱっ
なんだ
今のは——
ボ
ク?

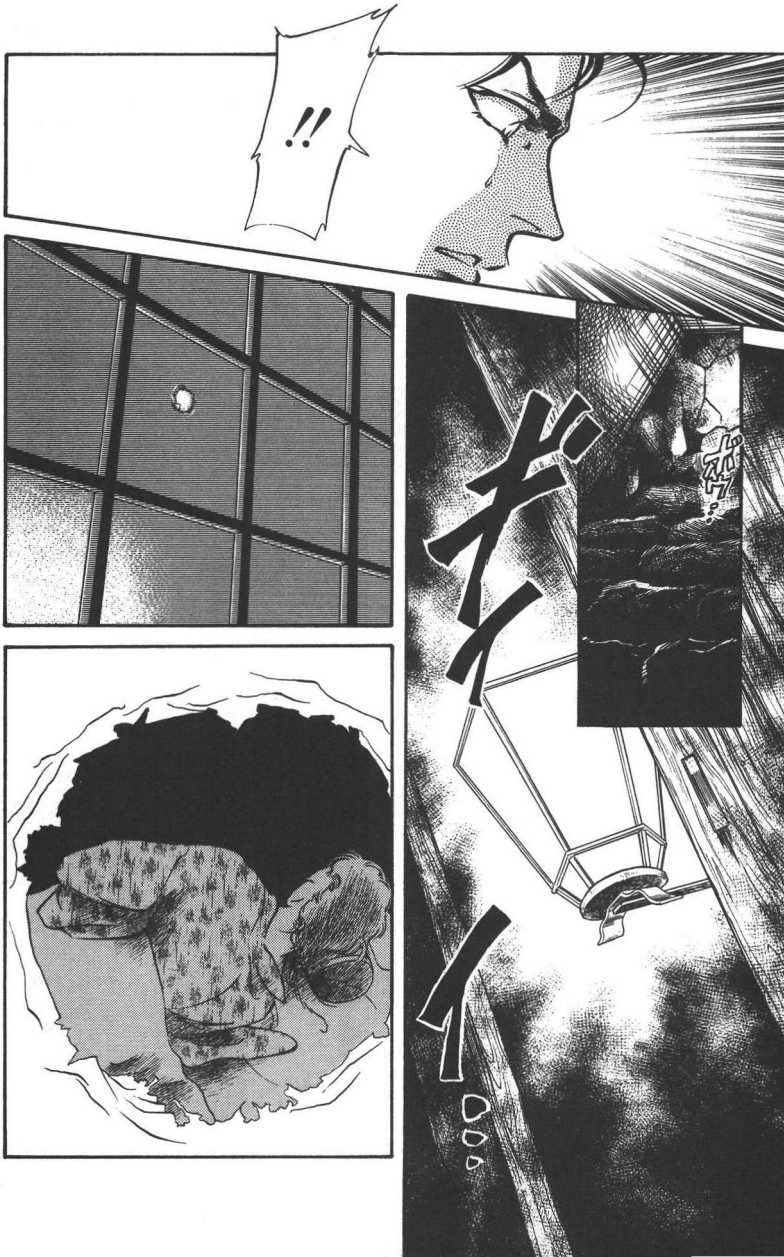

ガイイン!
バタン


ゴト
ハチ☆


…居ない？
…ここからのぞけるのか…
どうしてこんなものが…？
！

ナイ。
ギィ
！

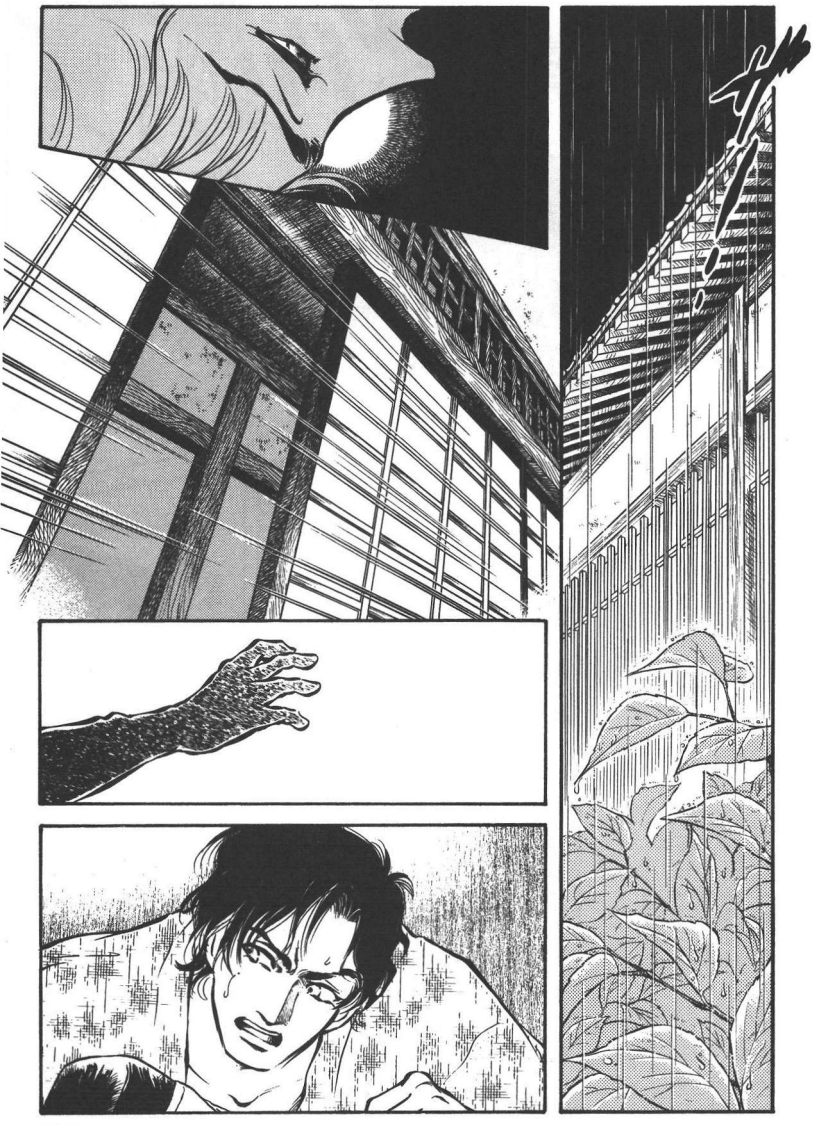

痛うっ…
この下に
何があるんだ!?
どこへ
繋っているんだ
この階段は——


!!
ギィ
ドサッ


ほれ御覧
辰弥は
よう寝てござるが
おかしいのう
たしかに
納戸に灯がついた
ように
思うたんじゃが
気のせいじゃて
小竹さま
小梅さま!?
さあさ
はよ
お参りしてこう
月命日じゃで
仏が
待っとる
ボイ!!


ホ！
クッ
――どういうことなんだ――
大伯母たちは
何を？
こんな夜中に
どこへ
行ったんだ？
〝仏〟？
月命日って
――？

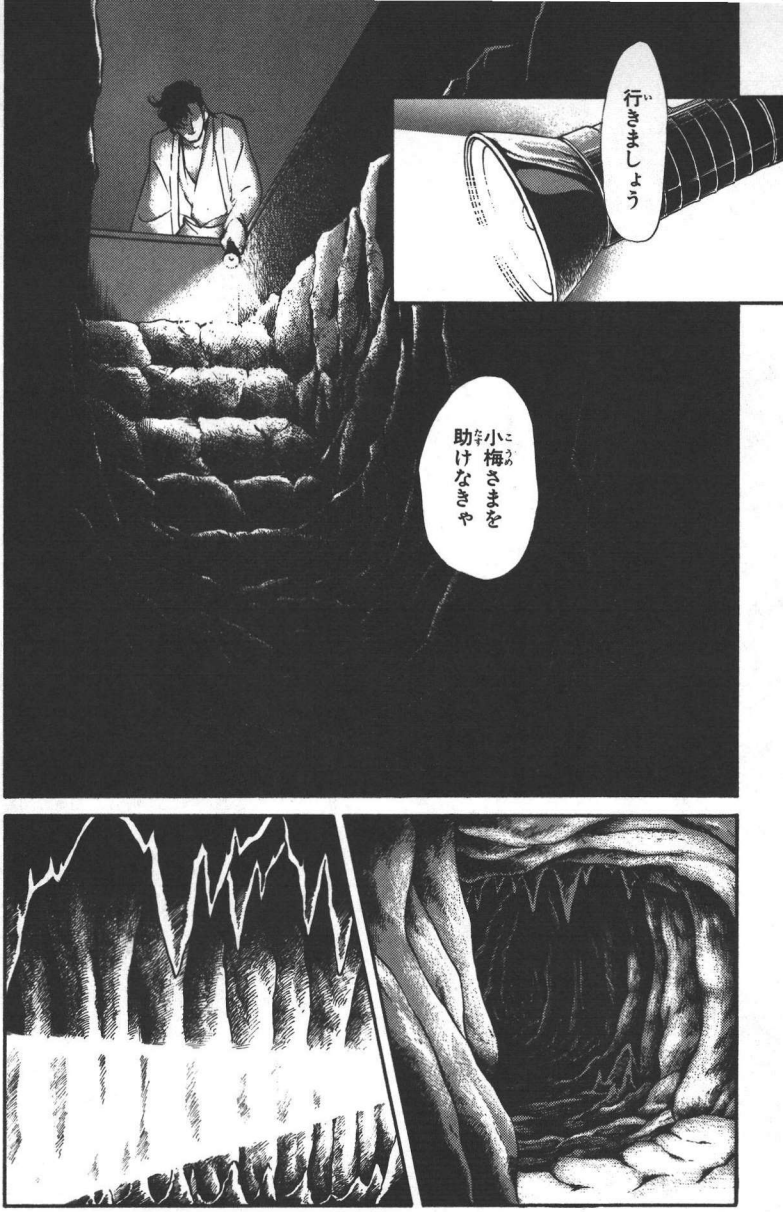

降り出した雨にさそわれたのか
いつの間にか眠ってしまったらしい
あまりに恐ろしいことが続きすぎて
神経が麻痺していたのかもしれないが——
ゴロゴロ
ドシャ




小…大伯母さん!?
ひ
あ
あ
どうしたんです!?
その格好は――
小梅さんが…
小梅さんがっ
さらわれてしもたっ


あ…孔の奥へ
ひきずりこまれて…
早う
早うっ
早う小梅さんを
助けておくれっ…
ザアア


姉さん
この中へ入ったことがあるんですか？
いいえ
こげん孔があること自体ちいとも知りませんもの
そんな…
けんど…
行かなきゃ…


行きましょう
小梅さまを助けなきゃ


これは…っ


鍾乳洞ですか！
ええ


この村の地下には
縦横無尽に
鍾乳洞が
走っとりますんよ


田治見家は
庄屋やったけん
なんぞの事態の
ために
こんな脱出口を
掘ったん
ですやろか…
それに
最近手を加えた
みたいですね…
まあ
！
……
右へ
行ってみましょう
僕たちは
この洞窟の中は
全くわからない
迷子になったら
大変だから


右へ右へと
歩いて行って
行けなくなったら
戻りましょう
ええ
……
ねえ
辰弥さん
…西屋の美也子さんの
ことだけど…
ああ！
綺麗な女性
ですね


…好いとりんさるの？
——は？
そんな
別に…
どうと
いって…
なんでも
ないのなら
ええのやけど
……
姉さん？
なんなんです
いったい？


…その…
気ィ悪うしたらごめんなさい
美也子さんはまだお若いし…
村の人たちいろいろと口さがないから
！
——言わせとけばいいんです
ご
ごめんなさい
僕はあの人が迎えに来てくれたから帰ってきたんですよ!?
辰弥さん——


祖父が
亡くなって
途方に暮れてた
僕を わざわざ
東京まで
来てくれて
辰弥さんっ
本当に
本当に
ごめんなさいっ
辰弥さんっ
――姉さんにまで
そんなことを
言われるなんて…


辰弥さんっ!!
ガッ
まだ何か?
ち…
ちがう

誰かいるっ!?




ひ…っ
！
ね
姉さん!?
む…っ
心臓が…っ!!
くそっ…
――？



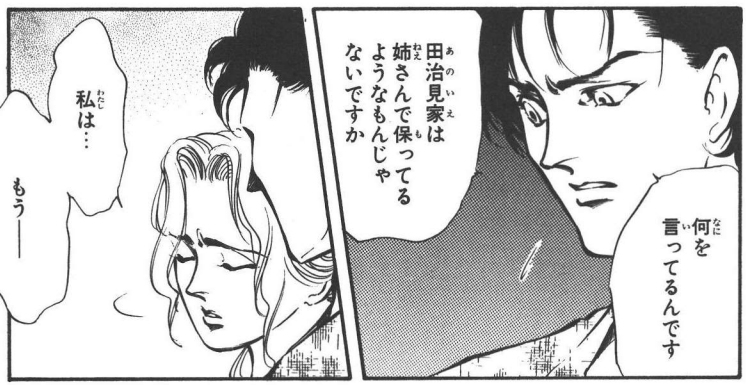

なんだ
ちっとも動かないし
人形じゃないですか
あれ
ほら
姉さん——
ハヘ
ハヘ
ち…
ちが……
ちがう…
あ…
れは…


——お父さん!!


梅幸はーん
トン
ドン
ドン
すんまへん
こんな深夜に
巡査の川口ですけんど
ちと急用で
お顔だけでも見せてくれんかね？
ドンドンドン

梅幸(ばいこう)はーん


落ち着きましたか？
ええ…
ごめんなさいね…
…肝心な時にはなんの役にもたたん…
ほんまにいやんなる…


何を言ってるんです
田治見家は姉さんで保ってるようなもんじゃないですか
私は…
もう――

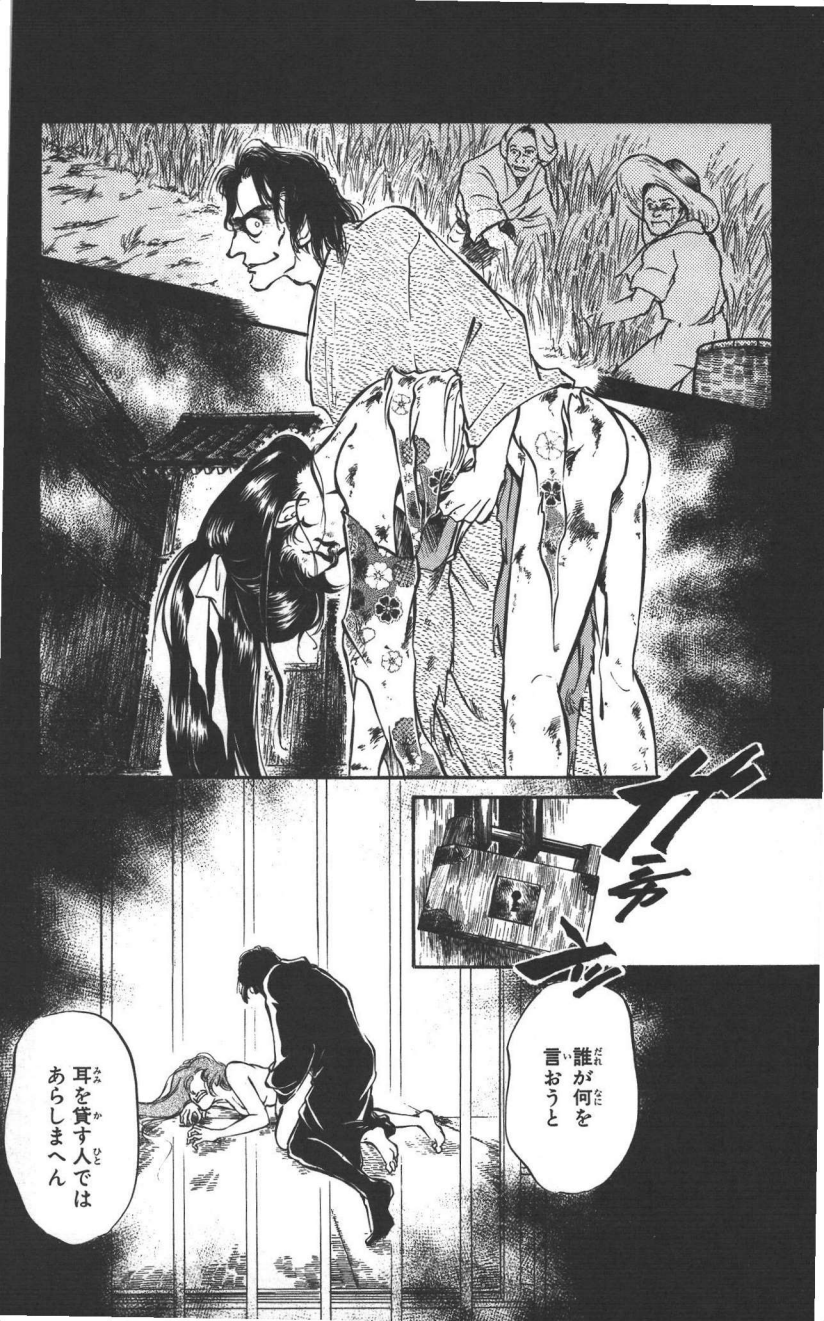

でも
もう大丈夫
辰弥さんが
帰って来て
くれはったから
――姉さん――
ひとつ
聞いても
いいですか？
僕の実父は
どんな人だったん
です？
田治見要蔵
という人は――
姉さん！


何故村の人は
あんな目で僕を
見るんですか!?
〝あの要蔵の息子
だから〟ってのは
どういうことです?
父は——
父は
何をしたん
ですか——
辰弥さん…


〝あの人〟は
今でも
はっきり
覚えとります
酒を飲んでは
母の髪を
ひっつかみ
暴れ狂っとった
姿を——
狂人やった
私の母も——
辰弥さんの
お母さま鶴子さんも


〝あの人〟の
犠牲になったん
です
早くに両親を亡くし
大伯母さまたちが
甘やかし放題に
育てたせいか
あの人は
そりゃもう
我儘で
この村の中で
自分の思いどおりに
ならんもんは無い
――そんな振る舞い
ばっかりでした
――わけても――

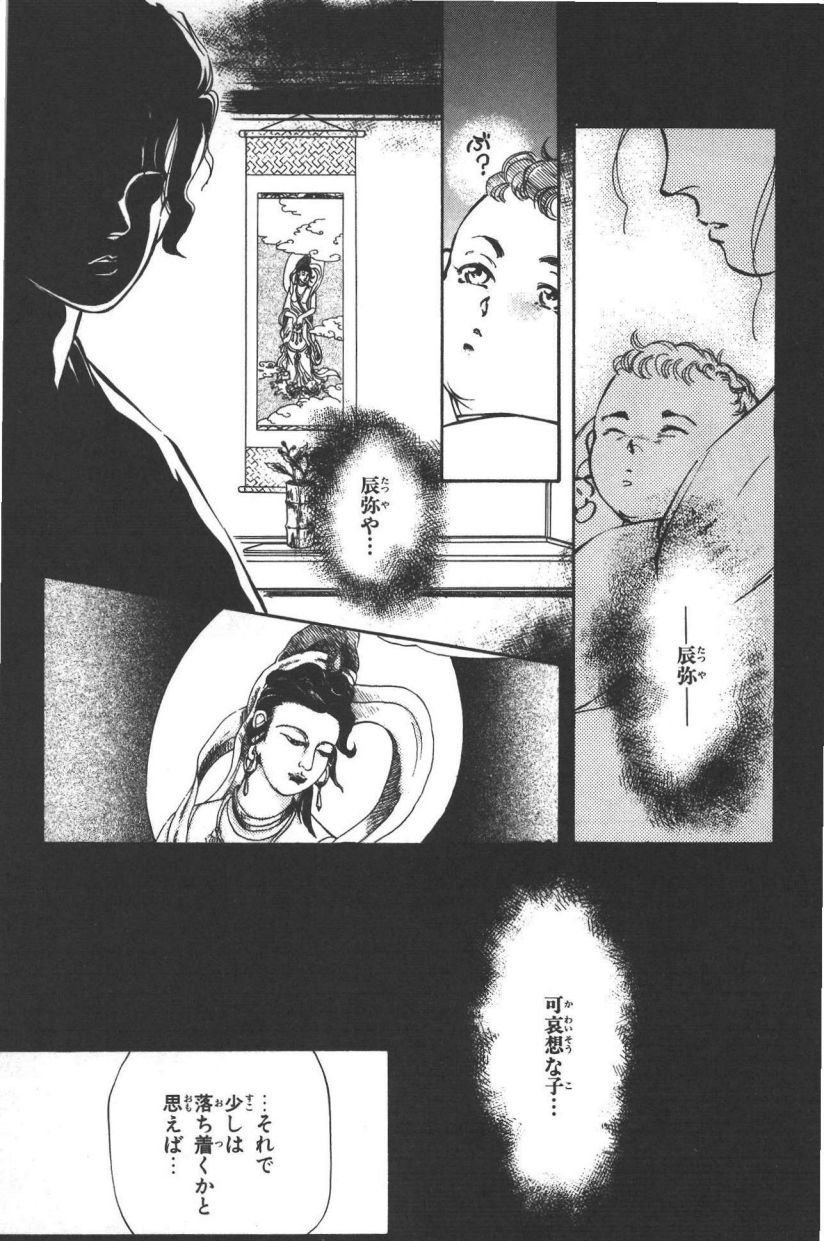

とうに
婚約も調うて
おった
鶴子さんに
横恋慕して
ある日――


ナデ
誰が何を言おうと
耳を貸す人ではあらしまへん


おまけに
大伯母さま
たちまで——
もう
こうなったら
しゃあない
鶴子には
要蔵の妾に
なってもらお
そんなっ
娘を返して
くだせえっ
そんな
無体な…
丑松や
あげん
傷もんのあげく
晒し者に
なってしもうた
女子を
嫁うてくれる男が
この村に
おるかいの
それに


小作の娘が
田治見家に
入れるなんぞ
名誉なことぞな
悪いようには
せん
自分の土地を
持ちたいとは
思わんかえ？
――戦争前の
ことよ…
結局 鶴子さんは
恋人とも
引き裂かれ
毎夜
あの獣に――


…地獄やった
私の母にも…
――やがて
辰弥さんが生まれた――

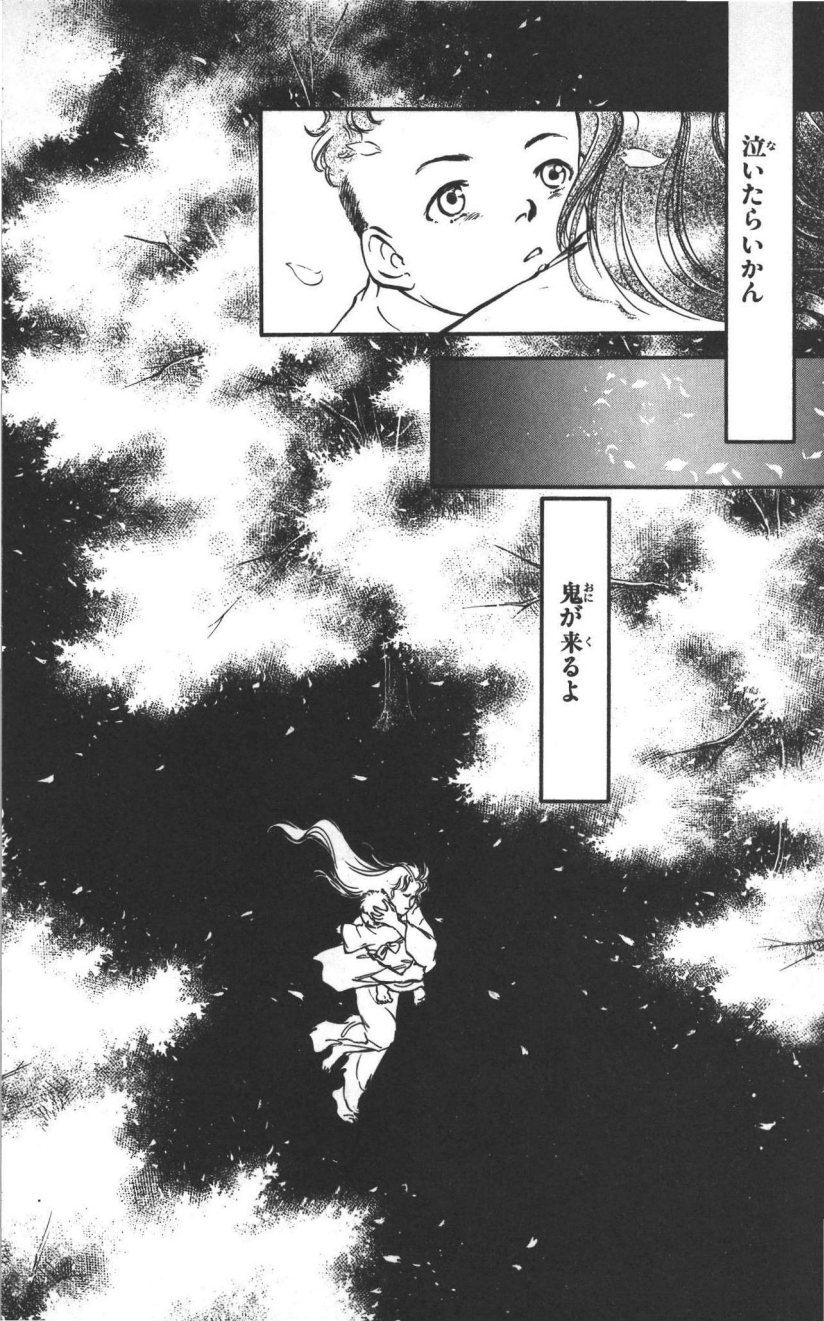

——辰弥——
お？
辰弥や…
可哀想な子…
…それで
少しは
落ち着くかと
思えば…

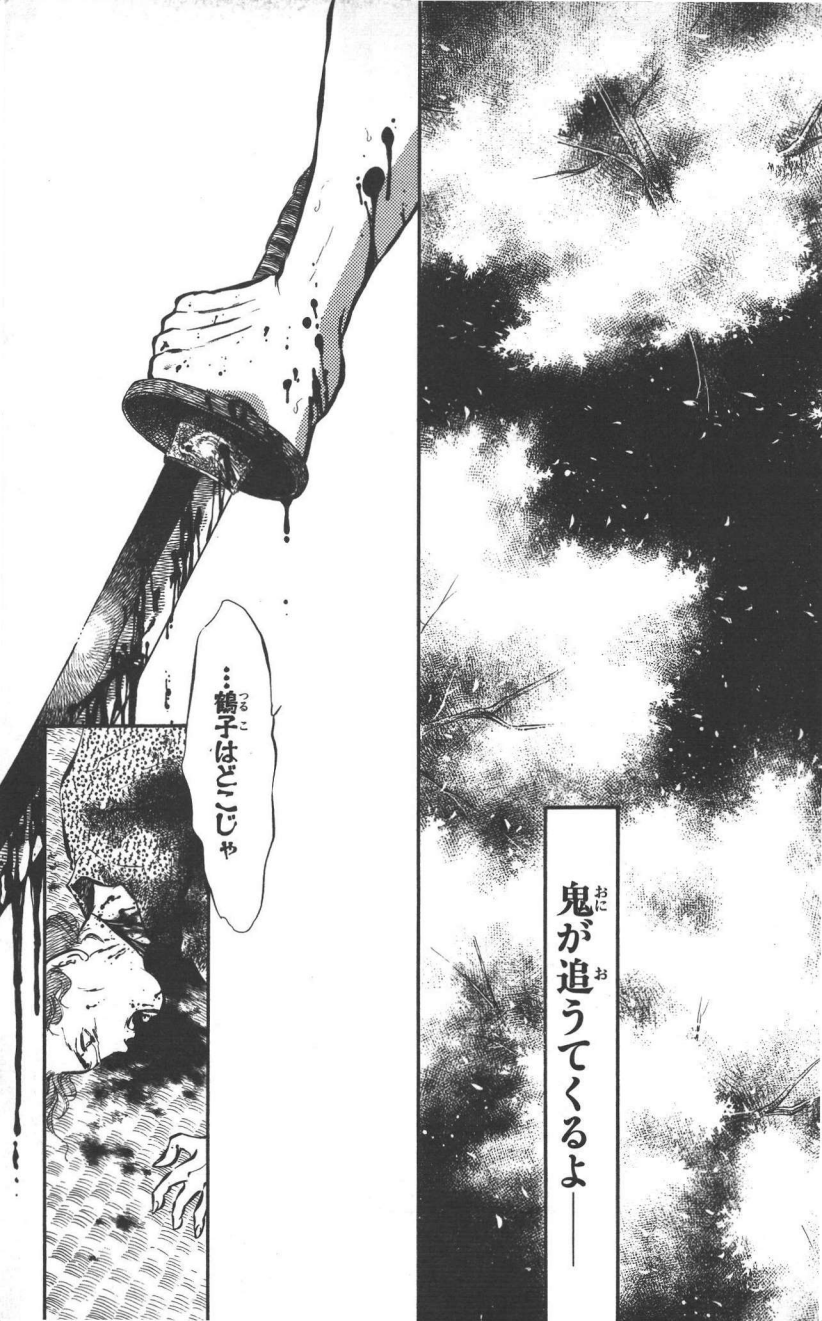

ひいいっ
お前は
俺のもんや
俺ひとりの
もんや!!
はっ


だ…
旦那さまっ
俺に似とらん
やめてえええっ


ズキン…ズキン…
――このままでは殺される――
ある夜
鶴子さんは辰弥さんをつれて
死にものぐるいでお逃げんさったとよ


鶴子はどこじゃあ!?
鶴子オッ
鶴子オオ〜!!
——泣いたらいかんよ——


泣いたらいかん
鬼が来るよ


鬼が追うてくるよ——
…鶴子はどこじゃ


どこへ
かくしたああっ




鶴子オッ
鶴子～～!!


その時
殺された人が
32人
八つ墓さまは
まだ犠牲を
求めてらっしゃると
言うて——
辰弥さん？




ガッ
ザクッ
ザクッ
ザクッ
——泣いたらいかん


——鬼が来るよ——
——あれが——
あの鬼が
父だったのか——!!


それっきり——
山の中へ
逃げ込んで
行方不明と
思われとった
のだけれど…
…大伯母さま
たちが
かくまっとったん
かしら…
——その息子が
しかも
騒ぎの原因に
なった
母との子が
帰ってきたんだ
…村の連中が
僕を憎むわけだ
……

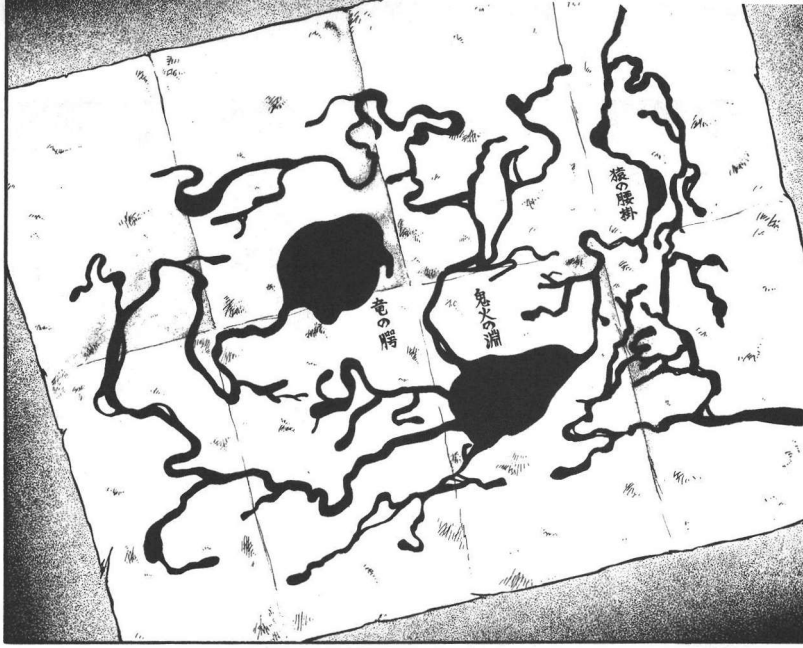

……
身内を殺された村の人たちも多いけん……
――濃茶の尼なんかも
家族を皆殺しにされてあんなふうになってしもうたから…

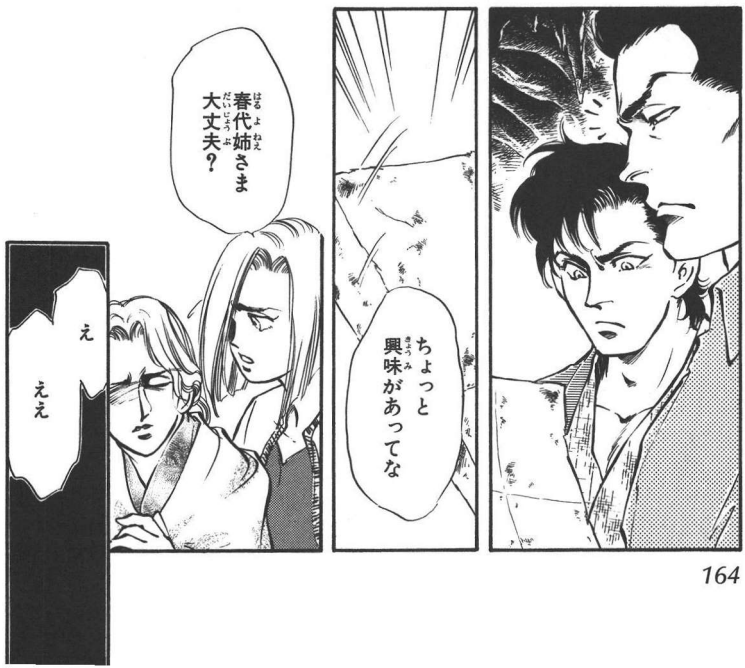

けんど
父と辰弥さんはちがうけん
ポチ


村の人たちも
きっといつか
わかってくれるから…
ガラン
誰だ!?


やっと追いついたな
慎太郎さん！
典子ちゃん！
万作から聞いたんでな
えーと……誰だけ？？
嘘が親父？


小梅さまは？
まだ…
途中
別の道も
あったから…
いや
ひと通り
見てはきた
…まだ
奥が
あるんでしょうか
……
もう少しで
〝鬼火の淵〟に
着く
そこから奥は
俺も
行ったことがないが


梭の腰掛
鬼火の淵
竜の腑


ちょっと
興味があってな
春代姉さま
大丈夫？
え
ええ


平気よ 典ちゃん
でも 顔がまっ青やけん…
一刻も早う 大伯母さまを見つけにゃ…
行こう


ええか
辰弥
田治見の財産
しっかり守らにゃ
いかんぜ
どこぞで
大あて違いを
しとる奴も
おるやろうけどな
――久弥兄さんが
死んだ今――


この人にも
財産が渡る
可能性は
あるわけだ
僕に
何かが
あれば——
ここで
行き止まりだ


！


ここが
鬼火の淵
じゃ
下へ
降りれんことは
ないが…


…あの火は？

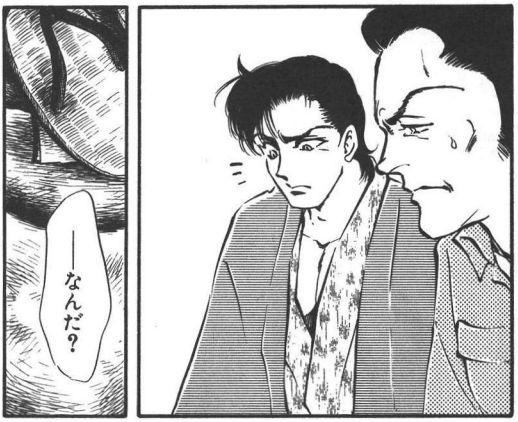

藻か何かが
燐光を発しとる
んだと思うが…


兄ちゃん！


これっ
こんな物がっ


…小…小梅さまの…


手帳の切れっぱし…？

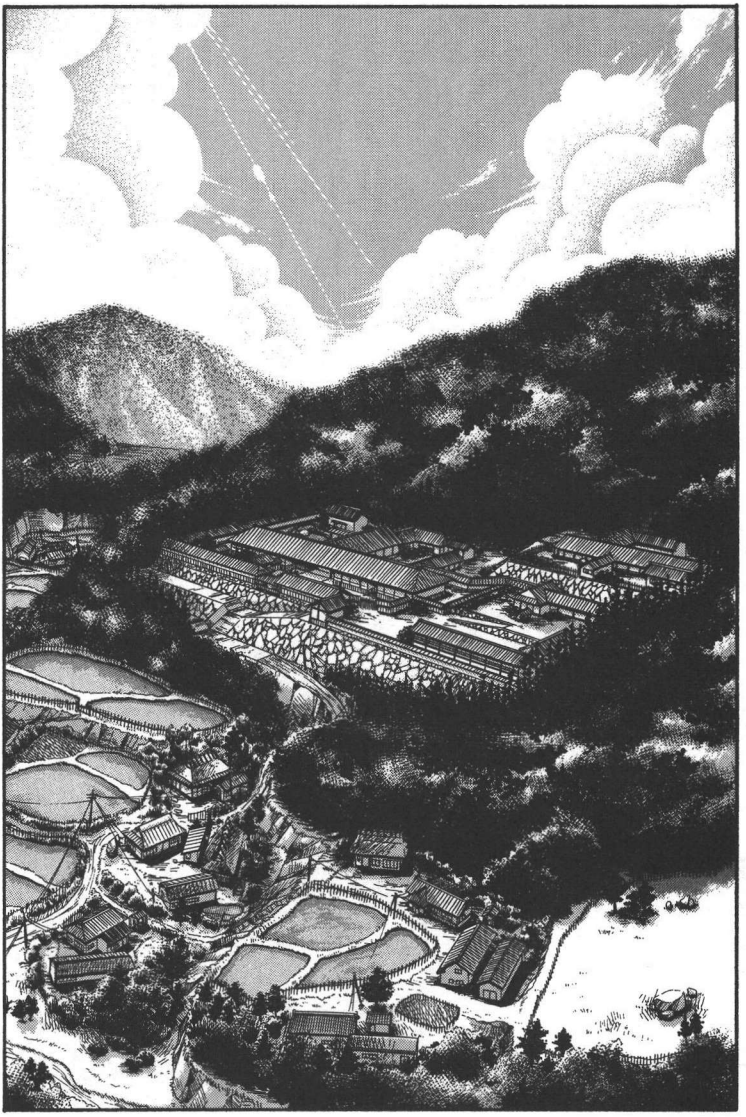

――なんだ？

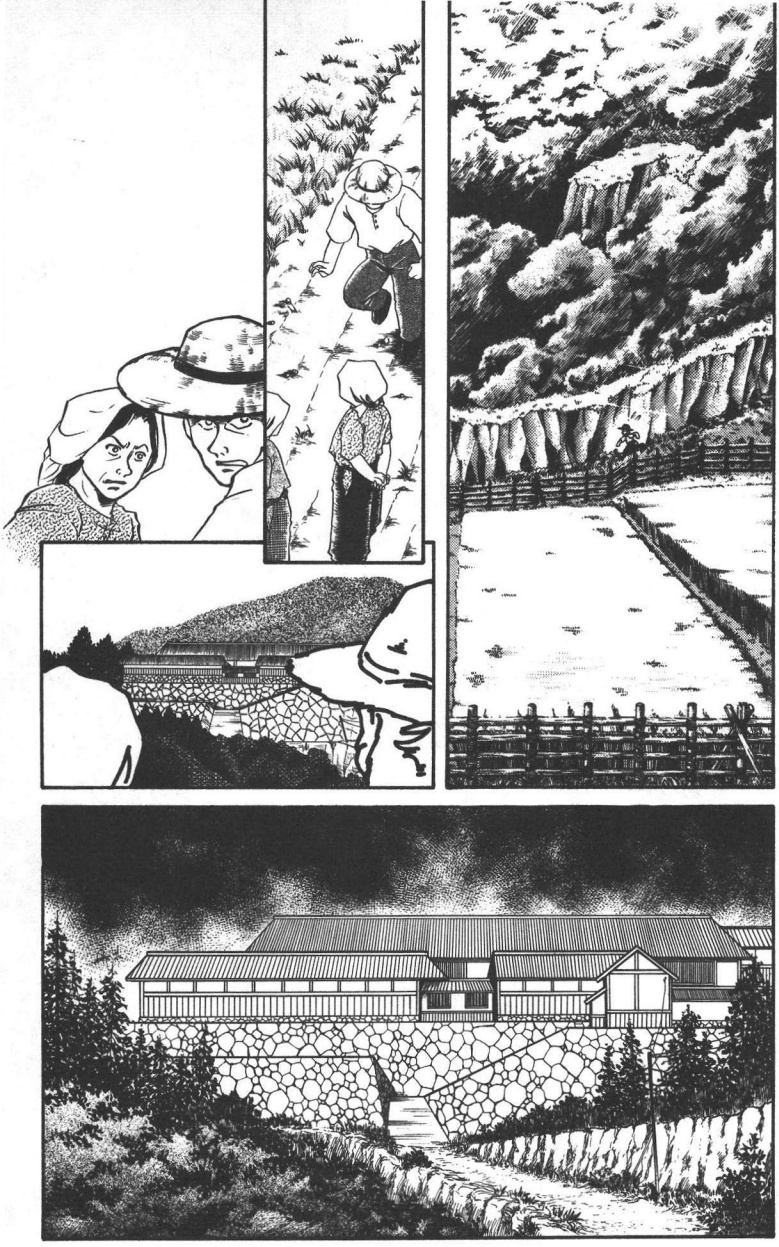

なんだ
こりゃ…
井川丑松
田治見久弥
双児杉
お梅様の杉
博労
井川丑松
片岡吉成
介抱者
妻屋、森若吉
双児
小梅様
尼
漫茶の尼、妙達
麻乃尾寿の長男
建光寺の洗禅


蓮光寺の供養
——小竹さま——
きゃあああっ
どうしたっ!?
あれ…
あれっ
浮いてる…っ
ゴボ…


——小梅さまっ


ゴゴゴ

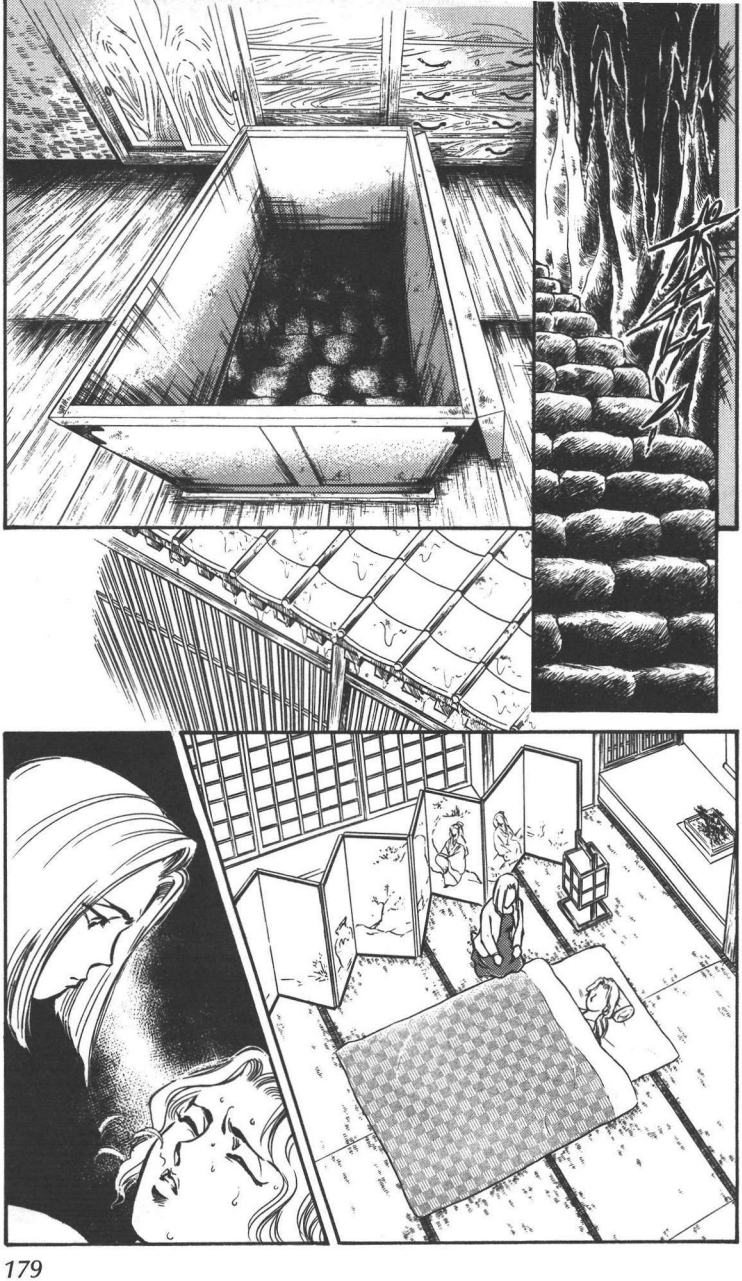





すごい！
困りますな
こんな
重要なことを
隠しておっては！
僕も
今夜はじめて
知ったんです!!
この鍾乳洞は
村の地下を
縦横無尽に
走っているんですか
…らしいです


そこ！
足跡がないか
気をつけてな！

妙だなぁ…
どこかで見た字だなぁ…
このメモによると
殺されたのは小竹さんのはずなんですが
——それに




ちょっと！
あなたたち
何をしてるの!?
通して
くださいな




あ
美也子さん？
何でもないのよ
気にしないで
そんな
それより
小竹さまが大変だと聞いて——


え
いや
しかも
村の中では
梅幸尼さんまで
殺されなさって
梅幸尼さん?
昨夜 田治見家から
届けたお膳に
毒が入ってた
らしいの!!
…なんで
田治見の家に
関った人ばっかり
……


ああ
これですね
八墓村駐在所
薬
内服
医者の久野が犯人かっ！
！
どういうことです？
――犯人かどうかはわかりませんが…


今までの一連の殺人は
全く意味も関連性もないように見えますが
やっと関連らしきものが出てきたじゃないですか
つながり？
博労の井川丑松と片岡吉蔵
麻呂尾寺の長英さんと蓮光寺の洪禅さん——
この八つ墓村の中で同じような位置——身分とか職業とかの——
その人間ふたりのうちどちらかひとり


〝どちらかを殺せばいい〟
それが犯人の目的だとしたら
なんですって!?
…考えてもみてください
洪禅さんが殺された時のことを——
あの時洪禅さんと長英さん
どちらにどのお膳がいくかなんてわからなかった


洪禅さんの前に毒入りのお膳がいったのは全くの偶然でしょう?
そんな不確実な殺人なんてあり得ない
それが不思議だったんですが
どちらでもいいというなら話は別です
バカなっ
久野の奴は気でも狂ったのか!?
いずれにせよ


一刻も早く
久野医師を
押さえた方が
いいと思いますね
もしこれが
〝八つ墓明神の祟り〟に
なぞらえた
殺人計画なら
八ツ墓村駐在所
残りの
二組のうち
片方は
わかるような
気がします
村には
最近
〝もっといいお医者〟
ができたそうじゃ
ないですか


その医者と
久野医師の名前が
並んでいたと
思いますね
双児村／お竹村の
博市／片岡弘蔵
井川正松
尼／姥ヶ市の尼・梅
双児／小梅・綾
介護者／重彦・森花吉
医者／久野恒史


さっき
巡査がよォ
居場所知らんか
ゆうて
久野医師まで
おらんなって
しもうたと？


久野医師が
どうしたって？


…あいつの
せいじゃあ


あの若造が村へ戻ってからというもん
ロクなことがねえ
こんままじゃあ…
また・・26年前みてえになるぞ!!


——あ
どう…
姉さんは？
もともと心臓悪いし…
あんなもん見んさったら…
…う…
…お…
…お父さ…ん？


典子ちゃん
慎太郎さんは
あれのこと
知ってたの？
ごくん


…兄ちゃんは
いつまでも
田治見の家の
居候で
おりとうない
言うて…



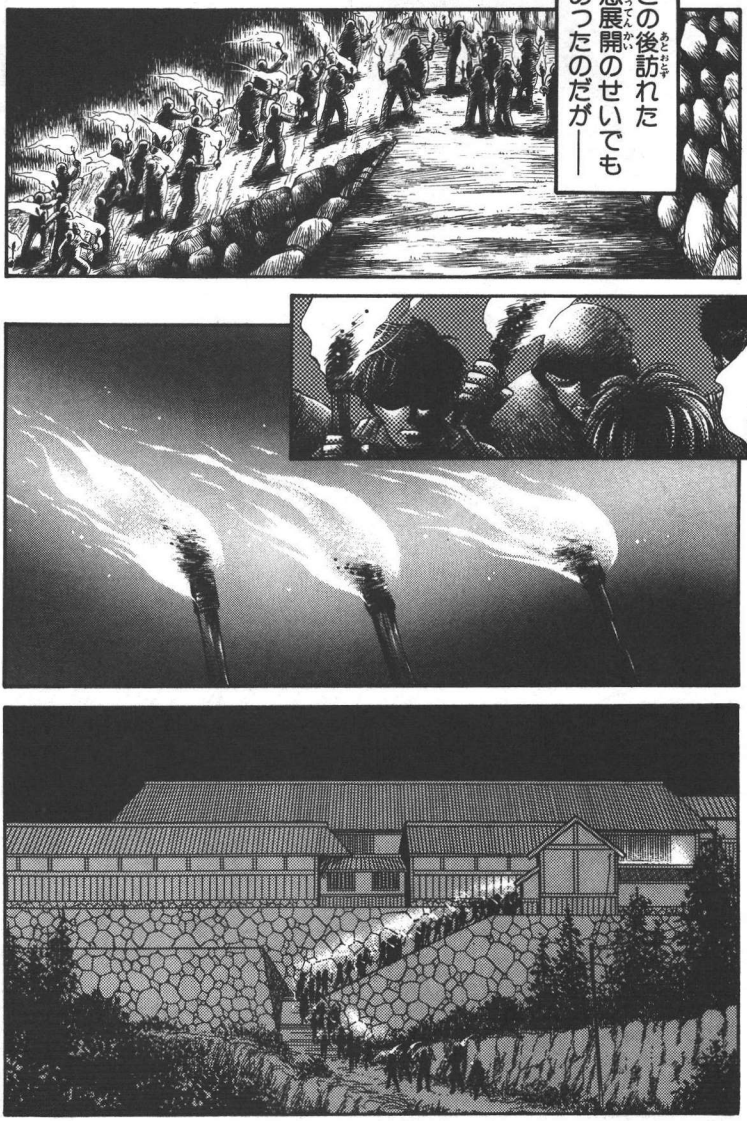
*落武者たちが持っていたとウワサされていた黄金三千両のこと。


まだ意識がもどらないのね?
春代さんもお気の毒に


嫁ぎさきから戻されてからというもの
あんなに…
大伯母さまたちのわがままにふりまわされて
心労もたまっていたのでしょうね


おかわいそうに…
そんなことないよ
だって春代姉さまは
大伯母さまたちも
久弥さんのことも
お好きやったもの
残してきた
旦那さんのことも
好いとりんさった
美也子さんとは——
ええ
大好きよ


典ちゃんも
辰弥さんも
美也子さんも——
——この時の——
奇妙な沈黙を
僕は長いこと
忘れられなかった
それは


この後訪れた
急展開のせいでも
あったのだが――


磯川警部どの～～っっ
大変でありますっ
大変っっ
村の連中が大挙して田治見家へ押しかけております!!
あんたらぁ何ね!?


――井川の丑松が殺された――
田治見の久弥も殺された
蓮光寺の和尚
姥ヶ市の尼
小梅の婆も殺された
まだ足りん
まだまだ血が流れる
…殺されてたまるか…


田治見辰弥を
出せえっっ
あのガキが
殺したんやっ
あいつが
おる限り
祟りは終らん!!
ドガッ
ばっ
ばっ
ばっ


ガッ
辰弥!!


え
早う抜け穴へ
逃げろ!!


村の奴らが
お前を殺しに
来とる!!

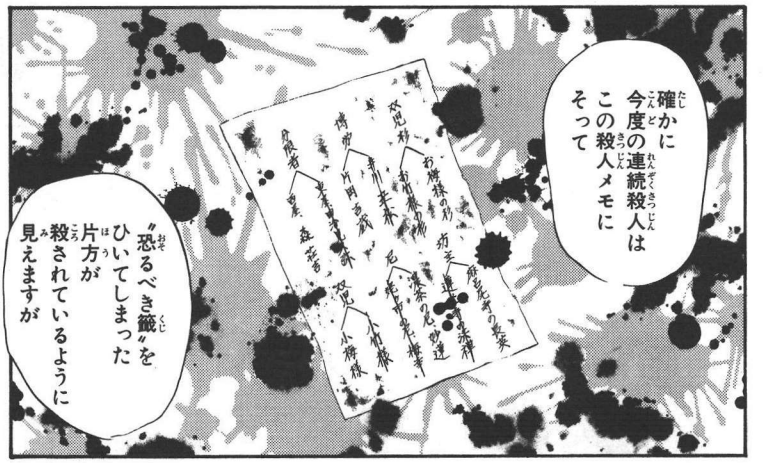

な
なんで
早う!!


なんで
逃げなきゃ
ならないんです
僕は何も
悪いことなんて
してない!!
今は
無駄じゃ
何を言っても
通じる状態じゃ
ない!
そんな…
村の連中が
落ち着くまで
穴へかくれとれ!
ドタ
ドタ


ドカ
ドカ
どこじゃあ
あん餓鬼は——
しかし
あんな
生っちろいのが
犯人かのォ
阿呆
忘れたか
あいつは
あの要蔵の
息子ぞ!!


もしもしっ
岡山県警!?
磯川だ!
応援を
たのむ!!
手に
おえんのだ!!
……
石川巡査
結局
久野医師は
見つからなかったん
ですね
は?
はっ!!


いっそのこと
久野の逮捕令状を
とるか
そうすりゃ
この騒ぎも
静まるんじゃ
ないか？
…久野医師は
犯人じゃ
ありませんよ
え？
よく見て
ください


確かに
今度の連続殺人は
この殺人メモに
そって
〝恐るべき鏃〟を
ひいてしまった
片方が
殺されているように
見えますが


こう書き換えることもできるんですよ
田治見家
森家
森 荘吉
小作
弟
久野恒史
辰弥
春代
信夫
典子
芙也子
…犯人は
久野の書いたメモを何かの折に手に入れて――
自分の"目的"にちょうど合うことに気づいたんですよ
…目的？


田治見家の
一族を
片っぱしから
殺して
しかも
久野医師の
犯行に
見せかける
じゃあ
動機は
!?
無論
田治見家の
財産——
梅幸尼と
洪禅和尚は
その動機を
ごまかすため
だけに
殺されたんです


じゃ…
じゃあ
犯人はこの4人のなかに…？
犯人かどうかはともかく——
例えば——
2頁めのリストがこうなっている可能性はありますね
新居修平
久野恒史
森美也子
田沿見春代
田沿見辰弥
里村慎太郎

…八つ墓明神の祟りじゃなかったと…？

祟りとか呪いとか…

恐ろしいのは・それを恐れる人間の心です

もっと恐ろしいのは

それすら利用しようとする人間の心です

毒殺という――

直接手を下さない殺人方法にせよ


6・・人もの人間を殺して
平気な顔をしている犯人の――
心理が何より恐ろしい――!!

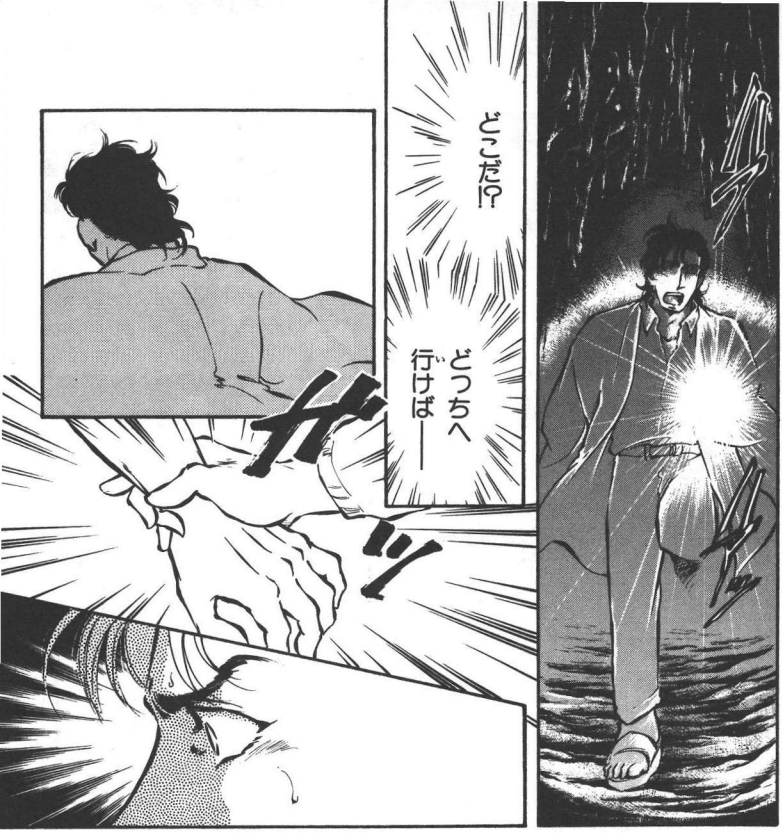

ギィ
何やここは?
納戸やないか
さすが田治見さまや
物置だけでもわしの家より広いわ


何な？
こん箱は
ガタン
おいっ
こっちじゃ!!
こん中に
逃げこみおった
ぞおおっ
右へ——
右へ——

右へ行くと——


え…っと
ここから
どう行くん
だったか…


本気だ
本気で僕を殺す気だ!!
おったぞおおっ
!
しまった!
地図…

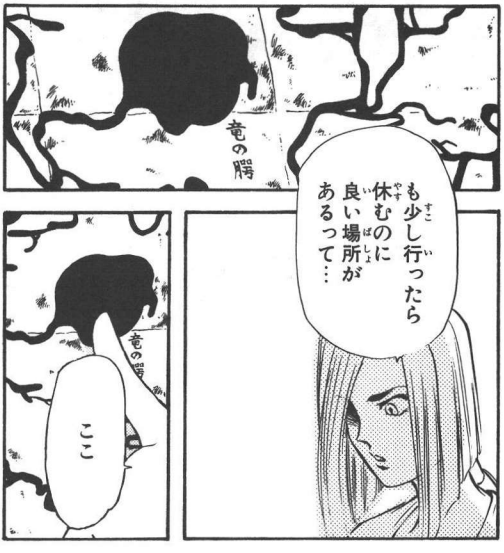

どこだ!?
どっちへ行けば――
ガッ




…あ
典ちゃ
シッ
兄ちゃんが
行け
ゆうたんよ
こっち
こっち
大丈夫や
――ここは
――！


〝鬼火の淵〟の――？
うん
あいつら この途 知らんもん
むこう岸へ 渡れるはず ないんやて




竜の腑
も少し行ったら 休むのに 良い場所が あるって…
竜の腑
ここ


…典子ちゃんは
えらいな
よくこんな
暗い所へ
ひとりで来たね
――どうして？
アタシらの部屋
電気ないから
夜はまっ暗やもの
慣れてるよ？

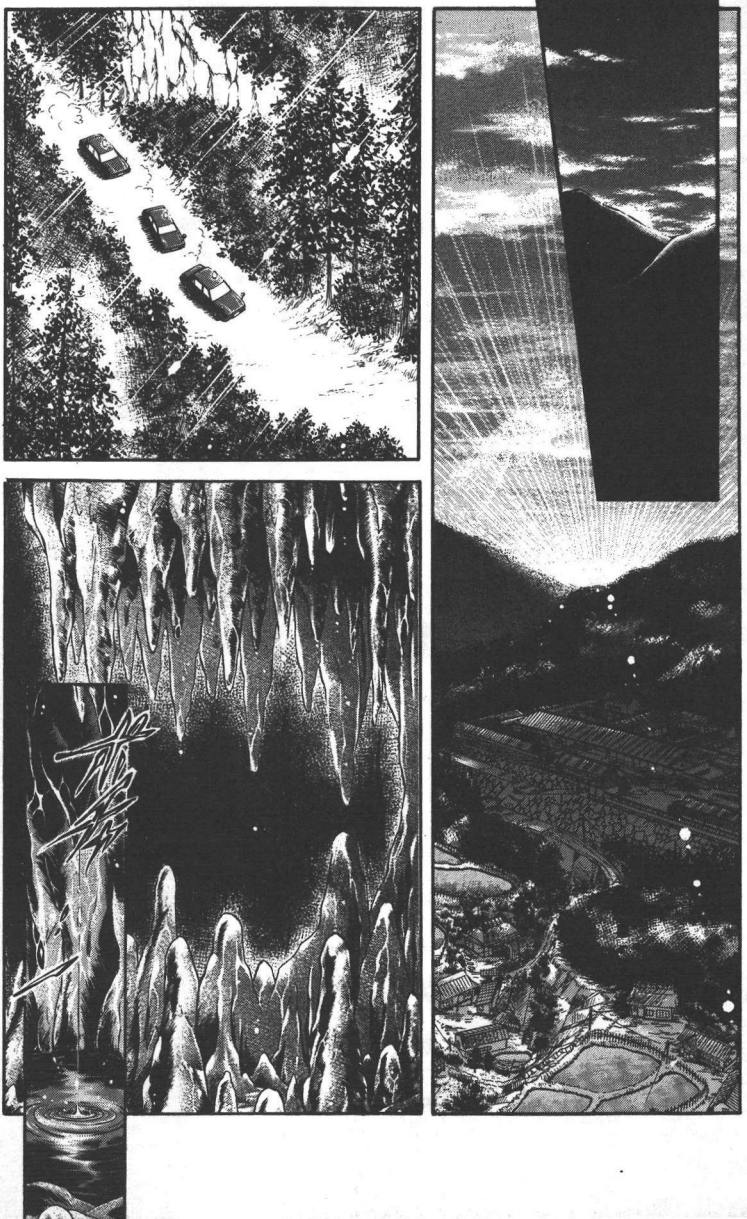

……
ごめん
実は――
慎太郎さんを
ちょっと
疑ってたんだ


兄ちゃんを?
なんで!?
いや…
との…
阿呆らし
兄ちゃんやったら
毒なんか
使わせんわ
堂々と
正面から
ぶちまわしに
行く
あんなん
卑怯者の
することや!
…ほんとに
ごめん…
!


…すごい！
きれえ…っ


これが――
――龍の顎――
――じゃあ帰るわ
え？
次はお弁当持って来るから
え？
ええ!?
村の人達おかしくなっとる
しばらくかかると思うん
…そんな
でも警察には知れてるんだろ？


こげん田舎じゃあ警察に力はないもん
大丈夫!
何とかぬけ出してくるけん!!
…ふうっ
なんで
こんなことに——




ああ——
まただ
いつまで
続くんだろう
この悪夢は
いつまで
人が死ねば
終るのか——
——え?


今——
何か——？
何か
聞こえた——？
！
今のは——
悲鳴!?
まさか！
典ちゃん!?


うわっ!?
辰弥さんっ!!
…み
食事を届けに来たのよっ
美也子さん!?
そしたら
そしたら今——
おそろしい声が——


姉さん!?


姉さん!?
どうしたんですっ!?
…うしろ…か…ら
誰か…に…
…こんな身体で…無茶だ…
…わたしが
きた…かった…の
どう…しても
…これ…を…


辰弥…さんに…
姉さん…
姉さんは…
やめて…
…たっ…や…
わた…し
犯人…に
かみつい…た
…の
え!?
気を…っ
ゴホッ


ゆ…び
ケガをした…
犯…人…
何もでけん
警察なんぞ
用はなか!!


俺らは
自分らの手で
犯人を
つかまえるんじゃ
そうや！
…犯人は
辰弥くんでは
ありません
何ィ？
すまんっ
わしが――
もっと早う
動いとったら――
なして――
西屋さま!?


犯人は
西屋の――
森 美也子です
！
…おかわいそうな
春代さん
――井川さんも――
久弥さんも


洪禅さん
梅幸尼さん
小竹さま
久野医師


しかたないわよね
だって
あたしは
幸せにならなきゃ
いけないもの…


——達雄さんも
かわいそう——


？

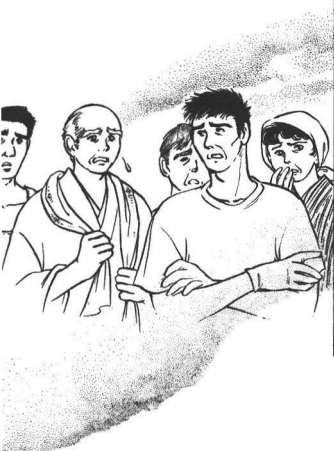

!?
——ほんとに——
——5年前
息子の達雄が死んだ時
わしはすぐ
あん嫁に疑いを持った
——けんど
なんも証拠がのうて——
悶々とするうち金田一先生のウワサを聞いてな
丑松さんの死に様を聞いて確信したんじゃ
——達雄と同じじゃった…!!


この事件では
犯人は
決して
表に出ようと
しなかった
だから
なかなか
証拠がつかめな
かったんです


しかし
金田一さん
！


いくら
田治見家の者を
殺しても
分家の彼女に
遺産がいくなんて
ことは——


……
——田治見家の
嫁になれば——
達雄くんの時と
同じことを
しようとしたんでしょう



あん女子は
森家の財産が
思ったより
少ないゆうて

達雄を
見下しきっとった——

しかし

そう

辰弥くんが
彼女と結ばれるとは
限らない

第一
小竹・小梅さまが
許すわけがない——

あ

…殺す気だったと
思いますよ

辰弥くんが
自分の都合に
あわなくなれば——


ごめんなさいね
辰弥さん
くっ…!
あたし
慎太郎さんでも
いいわ
ボ…
ボ…


…おかわいそうな
美也子さま…
ばさっ


…姉さん？
姉さん!!


――この恐ろしい
物語について
語るべきことは
もう
ほとんどない


やがて
金田一氏の
恐れていたとおり
洞窟の奥深く
久野医師の
毒殺死体が
発見されたことと
姉が命がけで
渡してくれた封筒の内容
それが
あんな意味を
持っていようとは
――!!
辰弥くんの
――
〝本当の御両親〟
だ


鶴子さんは
もともと
その亀井陽一と
いう男性に
嫁ぐはずだった
田治見家の人は
みんな知って
たんですか……？
ニヤリ
わしは
家を継ぐ気は
毛頭なかった
けんど
春代さんは
黙っとることに
耐えられん
なったんだろう
――すまん――


何故
もっと早く
話してくれなかったんです!?
そうすれば
——
こんな思いを
することも——
こんなに
人が死んで
辰弥さん
あなたには
あの狂った血は
流れてなかったんです


それで良いじゃありませんか
山ひとつ売った金を君名義の銀行口座に入れてある
必要な時は思い出してくれ
そんなっ
受けとってくれ
春代さんのために——
——だが
他人とは思ってくれるな


——いつか季節は
紅葉の頃へと
移っていた
そう遠くない
未来
桜の舞う頃に
もう一度
慎太郎さんの
言葉に甘えて
この村を
訪ねてみよう


優しい——
哀しい顔の女性を
偲ぶために
田治見家代信女
そして二度と
鬼の夢を
見ないために——
★八つ墓村★おわり

〈初出〉
●八つ墓村●「ミステリーDX」1996年8月号〜10月号掲載

あすかコミックス
八つ墓村

初版発行……1996年10月17日

著者……JET　原作／横溝正史
© JET 1996　© SEISHI YOKOMIZO 1996
発行者……角川歴彦

発行所……株式会社角川書店
〒102 東京都千代田区富士見2-13-3
振替＝00130-9-195208
電話＝編集部03-3238-8646 営業部03-3238-8530

印刷……凸版印刷株式会社

製本……凸版印刷株式会社

Printed in Japan　ISBN4-04-924621-X C9979

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物、団体名とは関係がございません。

ASUKA COMICS

9784049246216

ISBN4-04-924621-X

C9979 P400E

雑誌49219-27

角川書店 定価400円(本体388円)

1919979004003



戦国時代の祟りをひくという呪われたハつ墓村。
その村で起こった連続殺人は本当に祟りか、それとも……？
名探偵・金田一耕助が、複雑な血縁に由来する真相に挑む！